

3 年 次

令和3年度 年次別教育課程表

B 表		(表面)		学級数	第1学年	6	
教育局 渡島		市立函館高等学校 全日制課程			第2学年	6	
		学科 普通科			第3学年	6	
教科	学年 科目・標準単位数	1年	2年	3年			
国語	国語総合	4	4				
	国語表現	3					
	現代文A	2					
	現代文B	4		2	2		
	古典A	2			2		
	古典B	4		2~3	2~3		
	○国語研究A	2		2			
	○国語研究B	2			2		
	○国語教養	2				2	
	○作品講読	4		4			
地理歴史	世界史A	2					
	世界史B	4		4	4		
	日本史A	2		2~4			
	日本史B	4		4	2~4		
	地理A	2		2			
地理B	4		2~4	2~4			
公民	現代社会	2			2		
	倫理	2			2		
	政治・経済	2			2		
	○社会教養	2			2		
	○医療倫理	1			1		
数学	数学I	3	3				
	数学II	4		4	4		
	数学III	5			6~7		
	数学A	2	2				
	数学B	2		2	2		
	数学活用	2					
	○数学研究A	4			4		
	○数学研究B	2			2		
	○大学数学入門	1					
	科学と人間生活	2			2		
物理基礎	2	2					
物理	4		3	2			
化学基礎	2		2				
化学	4		2	3			
生物基礎	2	2		2			
生物	4		3	2			
地学基礎	2		2				
地学	4						
理科課題研究	1						
○物理研究	2			2			
○化学研究	2			2			
○生物研究	2			2			
○地学研究	2			2			
保健体育	体育	7~8	2	3	2		
保健	2	1	1				
○スポーツ専科	2				2		

B 表

(表題)

教育局 渡島		市立函館高等学校	全日制課程	学科 普通科
教科	科目・標準単位数 類型	学年		
		1年	2年	3年
芸術	音楽 I	2	2	
	音楽 II	2		2
	音楽 III	2		
	美術 I	2	2	
	美術 II	2		2
	美術 III	2		
	工芸 I	2		
	工芸 II	2		
	工芸 III	2		
	書道 I	2	2	
	書道 II	2		2
	書道 III	2		
○ 音楽 敷養	○ 音楽 敷養	2		2
	○ 美術 敷養	2		2
	○ 書道 敷養	2		2
	○ 音楽 専科	2		2
	○ 美術 専科	2		2
	○ 書道 専科	2		2
外國語	コミュニケーション英語基礎	2		
	コミュニケーション英語 I	3	3	
	コミュニケーション英語 II	4		4
	コミュニケーション英語 III	4		
	英語表現 I	2	2	
	英語表現 II	4		2
	英語会話	2		2
	○ 英語研究 A	2		2
	○ 英語研究 B	2		2
	○ 実用英語	2		2
	○ 医療英語	1		1
	○ 中国語	2		2
家庭	○ ロシア語	2		2
	○ ハングル	2		2
	家庭基礎	2	2	
	家庭総合	4		
情報	生活デザイン	4		
	社会と情報	2	2	
家庭教育	情報の科学	2		
	子どもの発達と保育	2~6		2
	○ 情報機器概論	1		1
	○ 函館学	1	1 ~ 2	1
各学科に共通する各教科・科目の計		29	29	26 ~ 29
主として専門学科において開設される各教科・科目の計		1~2	0~1	0~3
総合的な探究の時間 (総合的な探究の時間)		3~6	1	1
合 計		31 ~ 32	30 ~ 31	30 ~ 31
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・公立はこだて未来大学における学修を履修した者は、学校設定科目「情報機器概論」の単位を認定する。 ・2年次地理歴史の選択において、日本史A・日本史B・地理A・地理Bから必ず1科目を選択する。 ・2年次で地理Bまたは日本史Bを2単位で履修する者は、3年次においても連続して同名科目を履修しなければならない。 ・3年次で数学IIIを履修する者は、2年次で数学IIを履修した後、履修することとする。 ・2年次理科の選択において、化学基礎・地学基礎から必ず1科目を選択する。 ・2年次において芸術のIIを付した科目は、1年次で同名のIを付した科目を履修していないければ選択できない。 ・3年次公民の選択において、政治経済と倫理の両方を選択しない生徒は必ず現代社会を選択する。 ・3年次数学の選択のうち、数学研究Aと数学研究B及び数学Bを同時に履修することはできない。 ・2年次で化学を履修する者は、2年次の前期で化学基礎を履修した後、後期に化学を履修することとする。 ・2年次で物理・生物・化学を履修する者は、3年次においても連続して同名科目を履修しなければならない。 ・函館学は1年次1単位は必修とする。これに加えて、最大2単位まで修得を認める。 ・音楽・美術・書道教養および音楽・美術・書道専科については履修条件はない。 		

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
国語	現代文B (現代文B後半)	2	3年次・共通	三鹿裕明・高市道弘・丹通史							
使用教科書	改訂版 現代文B (数研出版) 現B／333		使用副教材	大学入学共通テストへのアプローチ 実用的な文章と記述式問題 (いいすな書店) 改訂版 評論速読トレーニング1000 (数研出版) 新版五訂新訂総合国語便覧 (第一学習社)							
科目の目標				道徳教育のねらい							
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。				人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。							
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力
1	隨筆	○		○			○				
2	評論	○	◎	○							
3	小説	○	○	○		◎	◎				
4	詩歌	○		○			○		○		○
5	表現	○	○	○	◎	○	○		◎		○
6	文学史	○		○				○			
7	語彙	○		○				○			
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解						
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させていている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。						
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。										
	活動の観察①(授業に対する取り組みの姿勢全般)	活動の観察②(グループ学習時の発表内容や人の意見を聞く態度)	記述の確認及(ノート、ワークシート、原稿用紙等)	定期考査に対する取り組み(ノート、ワークシート、原稿用紙等)	小テストや課題確認テスト	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み
	関心・意欲・態度	◎	○		○	○	○	○	○	○	○
	話す・聞く能力		◎								
	書く能力			◎							
	読む能力			◎							
	知識・理解				◎		◎	◎	◎	◎	◎

授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 課題確認テスト	1			
	評論(一) 「知識社会という幻想」	5	・文章を読んで批評することを通して、社会について自分の考えを深めたり、発展させたりする。	・論理的な文章を読み、筆者の考えを踏まえて、自分の意見を発表する。	
	5月 「文化が違う」とは何を意味するのか?	5	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする。	・キーワードに注意して読み、結論的意見を導く論証仕方を読み取る。	
	小説(一) 「舞姫」	7	・文章を読んで、人物、心情、心情描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	・回想手記形式の文章を読んで、その作品の時代背景について、様々な資料を調べ、擬古文を読み取る。	
	6月 前中期中間考査	1	・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。	・漢文的な文体、和文的な文体がそれぞれ作品にもたらす表現上の特徴を理解する。	
	7月 評論(二) 「『である』ことと『する』こと」	5	・文章を読んで、構成、展開を的確にとらえ、その論理性を評価する。	・論理的な文章を読んで、筆者の考えについて自分の意見を書く。	
	8月 「人はなぜ働くくてはならないのか」	5	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする。	・段落冒頭の接続語や指示語に注意して段落の役割を確認し、結論的意見を導き出す論証の仕方を読み取る。	
	課題確認テスト	1			
後期	9月 小説(三) 「檜櫟」	5	・文章を読んで、筆者の意図を的確にとらえ、表現を味わう。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。	・文学的文章を読んで、その表現の仕方について話し合う。 ・登場人物が置かれている状況を整理し、比喩・象徴表現を具体的に説明する。	
	10月 評論(五) 「顔の所有」	6	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。	・問題提起の部分をおさえ、結論的意見を導く論証の仕方を読み取る。	
	11月 「無常ということ」	7	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする。	・それぞれの段落の役割をおさえる。	
	12月 後中期中間考査	1			
	評論(四) 「エコロジーのミューズを求めて」	7	・文章を批判することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり、発展させたりする。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。	・論理的な文章を読み、筆者の考えをふまえて自分の意見を発表する。	
1月	共通テスト対策	4	・問題演習を通して、事実と意見を区別しながら読む力を身に付ける。	・問題文中の多くの情報から事実と意見を区別し、一つの意見の根拠を複数の文章から探し出す。	
	計	25		0	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任										
国語	古典A	2	3年次(選択)	丹 通史										
使用教科書	古典A(東京書籍)				使用副教材	古典Aワークノート(東京書籍)								
科目の目標							道徳教育のねらい							
古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。							人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。							
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)														
学習活動内容			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
1	古文物語	○		○										
2	古文歴史	○		○	○									
3	古文文法の要点	○		○										
4	漢文故事と寓話	○		○							○			
5	漢文孔子と子路	○		○		◎	○				○			
6	漢文漢の高祖と韓信・張良	○		○				○		○				
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
評価の観点	关心・意欲・態度	読む能力	知識・理解											
	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させてている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。											
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。													
	活動の観察① (学習活動への参加姿勢や態度) 記述の確認 (ノート、プリント、ワークシート)	活動の観察② (学習活動における発言内容や態度) 記述の確認 (ノート、プリント、ワークシート)	活動の観察③ (学習活動における発言内容) 記述の確認 (ノート、プリント、ワークシート) 定期考查											
		◎	◎											
		○	○											
关心・意欲・態度		○	○											
読む能力		○	○											
知識・理解		○	○											

古典A 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 5月 6月 7月 (24)	古文編 物語 (8) 漢文編 故事と寓話 (7)	様々な物語作品を読み、登場人物の心情や行動について考える。 寓話に込められた古代中国の思想や考え方についての思索を深める。	『伊勢物語』(2) 『大和物語』(2) 『うつぼ物語』(2) 『とりかへばや物語』(2) 『孟母断機』(2) 『夢為蝴蝶』(1) 『従滝鳥游』(1) 『直躬』(2) 『崔杼弑其君』(1) 『大鏡』(4) 『栄花物語』(4)		
	8月 9月 (10)	中間考查 (1) 古文編 歴史 (8) 漢文編 孔子と子路 (9)	歴史上の人物や出来事が、どのように語られているかを読み取る。 『論語』に描かれた孔子と子路の姿を通して、人間の生き方やあり方について考えを深める。	『子路請為弟子』(4) 『嗟乎、由死矣』(4) 『論語』における子路 (1)		
	期末考查 (1)					
	10月 11月 (16)	文法の要点 (15)	古文を読むための手がかりとして学んできた基本的な文法について、その要点を改めて確認する。	紛らわしい語の識別 (4) 助動詞 (6) 敬語 (3) 助詞 (1) 和歌の修辞 (1)		
	12月 1月 (10)	中間考查 (1) 漢文編 漢の高祖と韓信・張良 (10)	古代中国の思想や、歴史書に描かれた人物の生き方・考え方を通して人間の生き方やあり方について考えを深める。	『法三章耳』(3) 『国士無双』(3) 『多多益善』(3) 『良薬苦口』(1)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任									
国語	古典B (文系古典B(後半))	3	3年次文系	三鹿裕明・丹通史									
使用教科書	数研出版 改訂版 古典B 古文編 数研出版 改訂版 古典B 漢文編		使用副教材	新版五訂 新訂国語総合便覧(第一学習社) 数研出版 改訂版 古典B 古文編 基礎ワーク 数研出版 改訂版 古典B 漢文編 基礎ワーク 基礎から解説へ 新しい古典文法 四訂新版(桐原書店) 基礎から解説へ 新しい古典文法演習ノート 四訂新版(桐原書店) 出る順で学ぶ 頻出古典単語400改訂版(2会) 必携 句法と語彙と一緒に学ぶ 新明解漢文(尚文出版) 必携 句法と語彙の定着を図る 新明解漢文ノート 修訂版(尚文出版) 尚文出版 大学入学共通テスト対策版 基礎古典									
科目の目標				道徳教育のねらい									
古典としての古文と漢文を読む能力を兼うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。									
学習活動内容		市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
1	古文説話	○		○									
2	古文隨筆	○		○									
3	古文物語	○		○									
4	古文日記	○		○						○			
5	古文軍記	○		○	○								
6	古文和歌	○		○				○					
7	古文評論	○	○	○									
8	古文文法	○		○				○		○			
9	古文文学史	○		○				○					
10	漢文小説	○		○							○		
11	漢文史伝	○		○									
12	漢文小説	○	○	○			○						
13	漢文思想	○		○		◎	○			○			
14	漢文文章	○		○									
15	漢文漢詩	○		○	○		○						
16	漢文句法	○		○				○		○			
17	漢文重要語	○		○				○					
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解								
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。								
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。												
	活動の観察①活動の観察②記述の確認及定期考査に対する取り組み	(授業に対する取り組みの姿勢全般)	(グループ学習時の発表内容や人の意見を聞く態度)	(ノート、ワーク、姿勢と結果シート、原稿用紙等)	小テストや課題確認テスト	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み姿勢と結果							
	関心・意欲・態度	◎	○		○	○							
	話す・聞く能力		◎										
	書く能力			◎	○	○							
	読む能力			◎	○	○							
	知識・理解				◎	◎							

古典B（理系） 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	課題確認テスト	1			
		【古文】物語『源氏物語』 「光源氏誕生」	3	・物語の展開と和歌の内容との関連を適切に理解し、作者の意図や登場人物の危地を味わう。	・助動詞、敬語の定着 ・和歌の修辞法 ・古文常識の確認	
		「小柴垣のもと」	4			
		【漢文】逸話		・漢文の句法や語句に留意しながら読み、登場人物の行動の理由、意図を理解する。	・漢文重要語の知識 ・句法の確認	
	5月	「知音(呂氏春秋)」	3			
		「梁上君子(後漢書)」	3			
		「三横(世説新語)」	3			
	6月	【古文】歴史物語『大鏡』		・物語の背景や登場人物の関係を整理しつつ、的確に内容を把握する。	・歴史物語における物語構造の理解 ・敬語の適切な訳出 ・敬意表現における敬意の方向の理解	
		「花山天皇の出家」	4			
		「三船の才」	3			
		「南院の競射」	3			
	前期中間考査		1			
中期	7月	【古文】隨筆(二)『方丈記』		・表現の特徴をとらえ、当時の社会状況と無常観との関連を理解する。	・対句表現の理解 ・時代背景についての知識 ・句法の確認	
		「ゆく河の流れ」	3			
		「養和の飢饉」	4			
	8月	【漢文】漢詩(一)		・漢詩の特徴や語句に留意しながら読み、登場人物の心情を理解する。	・漢詩の決まりの復習 ・時代背景についての理解 ・句法の確認	
		「子夜吳歌」(李白)	3			
		「兵車行」(杜甫)	3			
	課題確認テスト		1			
	9月	【漢文】思想		・中国の思想、および諸子百家の概要について基礎的な理解をする。	・漢文重要語の知識 ・句法の確認	
		「道德賛礼(論語)」	3			
		「性善(孟子)」	3			
		「性惡(荀子)」	3			
	前期期末考査		1			
後期	55					
	10月	【古文】日記『建礼門院右京太夫集』		・私家集であり、日記文学の性格も持つ作品の読解を通して、作者の思いや、時代との関わりを知る。	・時代背景、場面状況の把握。 ・和歌の修辞、表現の特徴の確認。 ・副助詞、接続助詞等の復習。	
		「なべて世の」	3			
		「大原まうで」	3			
	11月	【古文】日記文学		・主語や省略されている事柄、指示内容を的確に読み取る。	・時代背景、場面状況の把握。 ・和歌の修辞、表現の特徴の確認。	
		「うつろひたる菊」(蜻蛉物語)	3			
		「土御門邸の秋」(紫式部)	3			
	12月	【漢文】史伝		・物語の展開と、登場人物の心理を把握する。	・漢文重要語句の知識。 ・句法の確認。	
		「伯夷・叔齊(史記)」	4			
		「廉頗・藺相如(史記)」	3	・漢文の諷喻の表現について知る。		
	後期中間考査		1			
	【古文】評論			・発話主体を的確に把握し、和歌に対する評価の視点を読み取る。	・敬語の用法の習熟。	
	「清少納言と紫式部(無明)」		3		・和歌の修辞、表現の特徴の確認。	
	「本歌取り(近代秀歌)」		3	・句のつながりを意識して丁寧に文脈をたどり、作者の心情を読み取る。	・平安貴族の生活等、古典常識の確認。	
	「俊成自讃歌のこと(無名抄)」		3			
	1月	共通テスト対策	6	・問題演習を通して、事実と意見を区別しながら読む力を身に付ける。	・問題文中の多くの情報から事実と意見を区別し、一つの意見の根拠を複数の文章から探し出す。	0
計		35				

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任						
国語	古典B (理系古典B(後半))	3	3年次理系	三鹿裕明 丹通史						
使用教科書	数研出版 改訂版 古典B 古文編 数研出版 改訂版 古典B 漢文編		使用副教材	新版五訂 新訂国語総合便覧(第一学習社) 数研出版 改訂版 古典B 古文編 準拠ワーク 数研出版 改訂版 古典B 漢文編 準拠ワーク 基礎から解説へ 新しい古典文法 四訂新版(桐原書店) 基礎から解説へ 新しい古典文法検習ノート 四訂新版(桐原書店) 出る順で学ぶ 頻出古典単語400改訂版(2会) 必携 句法と語彙を一緒に学ぶ 新明解漢文(尚文出版) 必携 句法と語彙の定着を図る 新明解漢文ノート 修訂版(尚文出版) 尚文出版 大学入学共通テスト対策版 基礎古典						
科目の目標				道徳教育のねらい						
古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。						
学習活動内容		市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)								
1	古文説話	○		○						
2	古文隨筆	○		○						
3	古文物語	○		○						
4	古文日記	○	○						○	
5	古文軍記	○	○	○						
6	古文和歌	○	○			○				
7	古文評論	○	○	○						
8	古文文法	○	○				○		○	
9	古文文学史	○	○				○			
10	漢文小説	○	○						○	
11	漢文史伝	○	○							
12	漢文小説	○	○	○		○				
13	漢文思想	○	○		◎	○			○	
14	漢文文章	○	○							
15	漢文漢詩	○	○	○		○				
16	漢文句法	○	○				○		○	
17	漢文重要語	○	○				○			
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解					
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。									
	活動の観察①活動の観察②記述の確認及び分析(ノート、ワーク)	定期考査に対する取り組み	小テストや課題確認テスト	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。					
	活動の観察①活動の観察②記述の確認及び分析(ノート、ワーク)	姿勢と結果	姿勢と結果	姿勢と結果	姿勢と結果					
	関心・意欲・態度	○	○	○	○					
	話す・聞く能力	○								
	書く能力		○	○	○					
	読む能力		○	○	○					
	知識・理解		○	○	○					

古典B（理系） 授業計画

授業計画					実施状況		
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前期	4月	課題確認テスト	1				
		【古文】物語『源氏物語』 「光源氏誕生」	5	・物語の展開と和歌の内容との関連を適切に理解し、作者の意図や登場人物の危地を味わう。	・助動詞、敬語の定着 ・和歌の修辞法 ・古文常識の確認		
	5月	【漢文】逸話 「知音(呂氏春秋)」	3	・漢文の句法や語句に留意しながら読み、登場人物の行動の理由、意図を理解する。	・漢文重要語の知識 ・句法の確認		
		「梁上君子(後漢書)」	3				
	6月	【古文】歴史物語『大鏡』 「花山天皇の出家」	3	・物語の背景や登場人物の関係を整理しつつ、的確に内容を把握する。	・歴史物語における物語構造の理解 ・敬語の適切な訳出		
		「三船の才」	3		・敬意表現における敬意の方向の理解		
	7月	前期中間考査	1				
		【古文】隨筆(二)『方丈記』 「ゆく河の流れ」	4	・表現の特徴をとらえ、当時の社会状況と無常観との関連を理解する。	・対句表現の理解 ・時代背景についての知識 ・句法の確認		
	8月	【漢文】漢詩(一) 「子夜吳歌」(李白)	4	・漢詩の特徴や語句に留意しながら読み、登場人物の心情を理解する。	・漢詩の決まりの復習 ・時代背景についての理解 ・句法の確認		
		課題確認テスト	1				
後期	9月	【漢文】思想 「道徳育礼(論語)」	2	・中国の思想、および諸子百家の概要について基礎的な理解をする。	・漢文重要語の知識 ・句法の確認		
		「性善(孟子)」	2				
	10月	「性惡(荀子)」	2				
		前期期末考査	1				
				35			
	10月	【古文】日記『建礼門院右京太夫集』 「なべて世の」	3	・私家集であり、日記文学の性格も持つ作品の読み解を通して、作者の思いや、時代との関わりを知る。	・時代背景、場面状況の把握。 ・和歌の修辞、表現の特徴の確認。 ・副助詞、接続助詞等の復習。		
		【古文】日記文学 「うつろひたる菊」(蜻蛉物語)	3	・主語や省略されている事柄、指示内容を的確に読み取る。	・時代背景、場面状況の把握。 ・和歌の修辞、表現の特徴の確認。		
	11月	「土御門邸の秋」(紫式部)	3				
		【漢文】史伝 「伯夷・叔齊(史記)」	3	・物語の展開と、登場人物の心理を把握する。	・漢文重要語句の知識。 ・句法の確認。		
	12月	「廉頗・蔺相如(史記)」	3	・漢文の諷喻の表現について知る。			
		後期中間考査	1				
	1月	【古文】評論 「清少納言と紫式部(無明)」	3	・発話主体を的確に把握し、和歌に対する評価の観点を読み取る。	・敬語の用法の習熟。 ・和歌の修辞、表現の特徴の確認。		
		「本歌取り(近代秀歌)」	3	・句のつながりを意識して丁寧に文脈をたどり、作者の心情を読み取る。	・平安貴族の生活等、古典常識の確認。		
1月 共通テスト対策			3	・問題演習を通して、事実と意見を区別しながら読み力を身に付ける。	・問題文中の多くの情報から事実と意見を区別し、一つの意見の根拠を複数の文章から探し出す。	0	
計 25					0		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任										
国語	国語研究B	2	3年次選択	高橋 衣津美										
使用教科書					使用副教材	改訂版よむナビ現代文2.5修練編(いいづな書店) 改訂版よむナビ古典2.5修練編(いいづな書店)								
科目の目標							道徳教育のねらい							
現代文・古文・漢文の各分野の文章から読み解くための課題を自ら発見させ、その課題を解決する方法を工夫させることによって思考力を伸ばし、それぞれの文章を的確に読解する実践的な能力を高め、適切に文章で表現する能力を育てる。							人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。							
学習活動内容			市函D.P.(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
1 現代文 隨筆	○		○				○							
2 現代文 評論	○	◎	○											
3 現代文 小説	○	○	○			◎	◎							
4 現代文 詩歌	○		○				○		○		○			
5 現代文 表現	○	○	○	◎	○	○			◎		○			
6 現代文 文学史	○		○					○						
7 現代文 語彙	○		○					○						
8 古文 説話	○		○											
9 古文 隨筆	○		○											
10 古文 物語	○		○											
11 古文 日記	○		○						○					
12 古文 軍記	○		○	○										
13 古文 和歌	○		○				○							
14 古文 評論	○	○	○											
15 古文 文法	○		○					○		○				
16 古文 文学史	○		○					○						
17 漢文 小説	○		○							○				
18 漢文 史伝	○		○											
19 漢文 小説	○	○	○				○							
20 漢文 思想	○		○			◎	○			○				
21 漢文 文章	○		○											
22 漢文 漢詩	○		○	○			○							
23 漢文 句法	○		○					○		○				
24 漢文 重要語	○		○					○						
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解									
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取つたり目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。									
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。													
	活動の観察①(授業に対する取り組みの姿勢全般)	活動の観察②(グループ学習時の発表内容や人の意見を聞く態度)	記述の確認及び分析(ノート、ワークシート、原稿用紙等)	定期考査に対する取り組み(ノート、ワークシート、原稿用紙等)	小テストや課題確認テスト	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み姿勢と結果	期別評価中の課題に対する取り組み姿勢と成果							
	関心・意欲・態度	○	○		○	○	○							
	話す・聞く能力		○											
	書く能力			○										
	読む能力			○			○		○					
	知識・理解				○	○	○							

授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 現 評論	1 講座の目標や内容の確認 1 話題をおさえる①	講座内容や目標の把握 数学的思考法	1	
	古 説話	1 主題・主張をとらえる① 用言(動詞)	宇治拾遺物語	1	
	現 小説	1 心情をとらえる	親方と仲様	1	
	古 文法のまとめ1	2 用言・助動詞の確認			
	5月 漢 歴史	1 内容をとらえる① 再読文字①	晋書	1	
	現 隨想	1 話題をおさえる②	にっぽん虫の眼紀行	1	
	古 隨筆	1 主題・主張をとらえる② 用言(形容詞・形容動詞)	徒然草	1	
	現 評論	1 接続語に注目する	哲学者クロサキの哲学する骨董	1	
	漢 文章	1 人物をおさえる① 再読文字②	世説新語	1	
	現 評論	1 段落展開をとらえる	身を養うということ	1	
	古 隨筆	1 設定をおさえる① 助動詞①	枕草子	1	
	前期中間考查	1			
	現 小説	1 描写の仕方に注目する	ボニーテール	1	
	漢 思想	1 話題をおさえる 否定①	韓非子	1	
後期	現 評論	1 内容を的確にとらえる①	センス・オブ・ワンダー	1	
	古 物語	1 設定をおさえる② 助動詞②	伊勢物語	1	
	現 評論	1 内容を的確にとらえる②	意識とはなにか	1	
	漢 句形のまとめ1	2 再読文字・否定・疑問・反語の確認			
	漢 歴史	1 指示内容をとらえる① 否定②	戦国策	1	
	現 隨想	1 表現に注目する	雪の音	1	
	古 隨筆	1 話題をおさえる 助動詞③	玉勝間	1	
	現 評論	1 指示語の指す内容をとらえる	私はどうして私なのか	1	
	漢 文章	1 人物をおさえる② 疑問・反語①	韓詩外伝	1	
	現 評論	1 主張の根拠をとらえる①	グローバリゼーションとは何か	1	
	古 日記	1 和歌をとらえる② 助動詞④	蜻蛉日記	1	
	前期期末考查	1			
	現 小説	1 心情の根拠をとらえる①	信念	1	
	漢 思想	1 理由をおさえる 疑問・反語②	孔子家語	1	
	現 評論	1 対比関係をとらえる	天文学と、純粹に知ること	1	
後期	古 隨筆	1 主題・主張をとらえる③・助動詞⑤	花月草紙	1	
	現 評論	1 主題をとらえる	科学は誰のものか	1	
	計	34			
	10月 現 隨想	1 心情の根拠をとらえる②	笑って死にたい	1	
	古 文法のまとめ2	2 助詞・呼応の副詞・敬語・識別・和歌	〈私〉時代のデモクラシー	1	
	現 評論	1 主張の根拠をとらえる②			
	漢 句形のまとめ2	2 使役・受身・限定・類歎比較・仮定・抑揚・漢詩			
	漢 思想	1 人物をおさえる③ 使役	淮南子	1	
	現 小説	1 選択肢判定…心情把握	スパイクス	1	
	古 物語	1 設定をおさえる③ 助詞①	太平記	1	
	現 評論	1 空所補充	哲学のヒント	1	
	漢 歴史	1 会話部分をとらえる 受身	貞観政要	1	
	現 小説	1 表現の内容と特徴	夜の靴	1	
	古 評論	1 心情を把握する 助詞②	俊頗隨脳	1	
	現 評論	1 文整序	考えないヒト	1	
	漢 隨筆	1 主題・主張をとらえる① 限定・累加	五雜俎	1	
	現 小説	1 心情説明①	青果の市	1	
12月	古 評論	1 構成をとらえる 呼応の副詞	無名抄	1	
	現 評論	1 内容説明	正義の偽装	1	
	漢 歴史	1 構成をとらえる 比較	三朝名臣言行録	1	
	現 小説	1 心情説明②	ざくろ	1	
	古 物語	1 和歌をとらえる 敬語	平中物語	1	
	漢 文章	1 主題・主張をとらえる	列仙伝	1	
	後期中間考查	1			
	現 評論	1 主題説明	ことばの世界と身体	1	
	古 日記	1 表現の特徴をとらえる	紫式部日記	1	
	漢 文章	1 表現の特徴をとらえる	太平廣記	1	
	計	26			

2021度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任											
国語	国語教養	2	3年次(選択)	佐々木 千春											
使用教科書					使用副教材	自主教材(学校設定科目のため)									
科目の目標										道徳教育のねらい					
国語で適切に表現する能力を育成し、言語文化に対する関心を深め、社会生活を充実させるための基礎的な言語感覚を身に付ける。										人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。					
市函D.P.(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)															
学習活動内容			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1 現代文 漢字	○		○					○				○			
2 現代文 語彙	○		○					○							
3 現代文 表現	○		○						◎						
4 現代文 要約	○		○												
5 古文 文法	○		○								○				
6 古文 文学史	○		○					○							
7 漢文 句法	○		○							○					
8 漢文 重要語	○		○					○							
評価の観点	关心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解										
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。										
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。														
	主体的な姿勢	目的に合った話し方	論理立てて自己の意見を述べる	文章を読解する	語彙力や国語										
	で授業に臨んでいます。提出物の期日を守っている。	できる	できる	できる	の教養的な知識を身につけています。										
	关心・意欲・態度	◎													
	話す・聞く能力		◎												
	書く能力			◎											
	読む能力				◎										
	知識・理解					◎									

国語教養 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 (4)	漢字問題 (4)	一つ一つの漢字を正確に読み、また、自分の手でしっかりと書く練習をする。	読み (2) 書き取り (2)		
	5月 (1)	慣用表現・常識語・重要語問題 (15)	慣用句や故事成語を中心に理解・習得し文学的な文章の読み解に役立てる。また、説明的な文章を読む力は語彙力が基礎となることを認識する。	二字熟語 (3) 三字熟語 (3) 四字熟語 (3) 慣用表現意味、その他 (3) 対義語・類義語 (2) 外来語 (1)		
	6月 (1)	中間考查 (1)				
	7月 (4)	文学史問題 (4)	古代から現代に至る日本文学の歴史について理解する。	古典文学の流れ (2)		
	8月 (2)	口語文法問題 (2)	口語文法の知識は、文章構造の基礎となる点で見逃せないものであることを認識する。	近現代文学の流れ (2) 品詞・識別 (1) 表現 (1)		
	9月 (8)	期末考查 (1) 古文単語・常識問題 (7)	古文読解の基礎となる単語と、古文を読む上で当然知つておくべき知識を習得する。	古文単語、文脈把握 (3) 古文常識語 (2) 和歌・俳諧の修辞 (2)		
後期	10月 (1)	古文文法問題 (15)	正しい古文読解のために、活用のある語を基本として文法を再確認していく。	用言 (3) 助動詞 (5) 助詞、係り結び (1) 敬語 (2) 識別 (4)		
	11月 (1)	中間考查 (1)				
	12月 (6)	漢文句法問題 (6)	句形に基づいて、内容をきちんと把握する漢文の読み方を身に付ける。	否定、使役、受身 (2) 疑問、反語、感嘆、選択 (2) 仮定、比較、比況、抑揚 (2)		
	1月 (4)	現代文要約問題 (4)	文章の構成を意識して読むことで、筆者の主張を早く正確に読み取る。	100字要約練習 (2) 200字要約練習 (2)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
地理歴史	世界史B(世界史B演習)	4	3年次・文系		吉田 崇								
使用教科書	詳説世界史B(山川出版社)			使用副教材	ニュースステージ世界史詳覧(浜島書店)								
科目の目標							道徳教育のねらい						
世界の歴史を、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。							我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化的の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。						
学習活動内容			市図DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
基礎力			思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解・ 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力		
1 第1章 オリエントと地中海世界	○	○	○						○		○		
2 第2章 アジア・アメリカの古代文明	○	○	○						○		○		
3 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	○	○	○						○		○		
4 第4章 イスラーム世界の形成と発展	○	○	○						○		○		
5 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	○	○	○						○		○		
6 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	○	○	○						○		○		
7 第7章 アジア諸地域の繁栄	○	○	○						○		○		
8 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	○	○	○						○		○		
9 第9章 近代ヨーロッパ世界の展開	○	○	○						○		○		
10 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	○	○	○						○		○		
11 第11章 欧米における近代国民国家の発展	○	○	○						○		○		
12 第12章 アジア諸地域の動搖	○	○	○						○		○		
13 第13章 帝国主義とアジアの民族運動	○	○	○						○		○		
14 第14章 二つの世界大戦	○	○	○						○		○		
15 第15章 冷戦と第三世界の独立	○	○	○						○		○		
16 第16章 現代の世界	○	○	○						○		○		
17 グループワーク			○	○	◎	○	◎		◎	○	○		
18 課題提出			○	◎		○		○		◎	○		
19 考査	○	○						○	○				
評価の観点			关心・意欲・態度			思考・判断		技能・表現		知識・理解			
世界の歴史の大いな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる國家・社会の一員としての責任を果たそうとする。			世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、表現する。			世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。		世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。					
評価の方法			小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、因果関係や課題を発見し多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、表現できるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、情報を利用することを身に付けて、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現できるかどうかを評価する。					

世界史B(世界史B演習) 授業計画

学習指導計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 5月	第11章 欧米における近代国家の発展(14) 第12章 アジア諸地域の動揺(21)	・ウィーン体制の特色を理解する。 ・欧米の進出によるアジア諸地域の変化を、地図などの資料を活用して理解する。	2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生(6) 3 南北アメリカの発展(6) 4 19世紀欧米の文化(2) 1 オスマン帝国支配の動搖西アジア地域の変容(7) 2 南アジア・東南アジアの植民地化(4) 3 東アジアの激動(10)	前	
	6月	前期中間考查(1)		1 帝国主義と列強の展開(11) 2 世界分割と列強対立(11) 3 アジア諸国の改革と民族運動(11)		
	7月 8月 9月	第13章 帝国主義とアジアの民族運動(33) 前期期末考查(1)	・帝国主義の背景や、世界分割の過程、その影響を、地図などを用いて理解する。			
	10月	第14章 二つの世界大戦(18)	・二つの世界大戦について、諸資料を活用して理解し、多面的・多角的視野に立って考	1 第一次世界大戦とロシア革命(4) 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国(4) 3 アジア・アフリカ民族主義の進展(3) 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略(3) 5 第二次世界大戦(4)	後	
	11月	第15章 冷戦と第三世界の独立(8)	・冷戦と第三勢力の動向を理解し、戦後社会の課題を考察する。	1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立(2) 2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興(2) 3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り(2) 4 石油危機と世界経済の再編(2)		
	12月	第16章 現代の世界(8) 後期中間考查(1)	・1980年代以降の国際社会の状況を理解するとともに、科学技術などがもたらす現代文明の問題点を考察する。	1 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展(2) 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺(2) 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困(2) 4 現代文明の諸特徴(2)		
		復習と演習(15)	・地理的な視点を意識しながら、歴史的事象の相互関係を考察する。	プリントなどを用いた復習と演習(15)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任													
地理歴史	日本史B (日本史演習)	4	3年次	柳原 伸哉													
使用教科書	山川出版社 詳説日本史B 改訂版				使用副教材	第一学習社 最新日本史図表 二訂版 山川出版社 日本史用語集 山川出版社 詳説日本史10分間テスト 改訂版											
科目の目標													道徳教育のねらい				
我が国の歴史の展開に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。													客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くようにするとともに、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成するようとする。その際、核兵器などの脅威に着目させ、戦争を防止し、平和で民主的な国際社会を実現することが重要な課題であることを認識させる。				
市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)																	
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
第9章 近代国家の成立		基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力						
1 開国と幕末の動乱	○		○	○	○				○		○						
2 明治維新と富国強兵	○	○	○	○	○				○		○						
3 立憲国家の成立と日清戦争	○	○	○	○	○				○		○						
4 日露戦争と国際関係	○	○	○	○	○				○		○						
5 近代産業の発展	○			○	○				○		○						
第10章 二つの世界大戦とアジア																	
6 第1次世界大戦と日本	○	○		○	○				○		○						
7 ワシントン体制	○		○			○			○		○						
8 市民生活の変容と大衆文化	○		○			○			○		○						
9 恐慌の時代	○	○	○	○	○	○			○		○						
10 管部の台頭	○	○	○			○			○		○						
11 第2次世界大戦	○	○	○	○	○	○			○		○						
第11章 占領下の日本																	
12 占領と改革	○	○		○	○				○		○						
13 冷戦の開始と講和	○	○	○			○			○		○						
第12章 高度成長の時代																	
14 55年体制	○	○		○	○				○		○						
15 経済復興から高度成長へ	○		○			○			○		○						
第13章 激動する世界と日本																	
16 経済大国への道	○		○			○			○		○						
17 冷戦終結と日本社会の動揺	○	○				○			○		○						
18 グループワーク		○	○	○	○	○	◎		◎	○	○						
19 課題提出	○	○	◎			○			○	◎	○						
20 考査	○	○							○	◎	○						
評価の観点	关心・意欲・態度			思考・判断			技能・表現			知識・理解							
	我が国の歴史の展開に対する关心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			我が国の歴史の展開から課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。			我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。			我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。							
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。																
	授業での取組		課題への取組		定期考査		提出物		その他の資料		その他						
	关心・意欲・態度		○ ○		○ ○		○ ○		○ ○		○ ○						
	思考・判断		○ ○		○ ○		○ ○		○ ○		○ ○						
	技能・表現		○ ○		○ ○		○ ○		○ ○		○ ○						
	知識・理解		○ ○		○ ○		○ ○		○ ○		○ ○						

日本史B(日本史演習) 授業計画

授業計画				実施状況	
月(時数)	単元・考査等(配当時数)	学習のねらい	学習内容(配当時間)	単元実施時数	実施反省
前期	第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 (44)	<p>○日米と親条約・修好通商条約締結、開港による経済・社会の情勢変化に着目して、政局への影響を考察させる。公武合体、幕末攘夷、倒幕の動きに着目して、権力構造の変化を理解させる。</p> <p>○沈黙政策・徵兵制・四民平等・扶保地分・地租改正・殖産興業政策に着目して、明治政府が中央集権体制を構築していく過程を考察させる。近代化政策や欧米文化の導入について、国民の間に受容と反発があったことを理解させる。また、武力反抗から官能による近代化移行する要因を考察させる。虎尾事件を含む明治初期の外交政策について、欧米諸国への対応とアジア諸国への対応の違いを多面的・多角的にとらえさせる。</p> <p>○国会開設要求の運動などに見られる国民の政治的関心の高揚と挫折の過程について考察させる。また、憲法の特色、議会と内閣の在り方などを通じて、戦前の立憲制のしくみを理解させる。条約改正が、法典整備など国内体制の確立だけでなく、英露対立の背景にして進展した点を、年表や地図から考察できるか。また、朝鮮をめぐる対立が日清戦争の背景となった点を理解させる。</p> <p>○英露対立という世界情勢を背景とした日露戦争が軍事力・経済力・工業力などの国家の絆力を結集して競われた点を考察させる。また、日本の勝利でアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激した反面、その後の韓国併合や満州進出の動きが中国の对外意識や近隣諸国受け止め方の変化につながったことについても考察させる。立憲政友会の成立から桂園時代に至る過程について、軍備の拡張の視点を踏まえて考察させる。</p> <p>○殖産兴业政策を基礎に産業基盤の整備が進み、織維部門での産業革命以降、製鉄・造船などの重化工业の形成、鐵道・海運の伸張、財閥の形成、寄生地主制の成立などを相互に連動させて考察させる。劣悪な労働条件に対する労働争闘の頻発と社会主義運動の高まり、足尾銅山事件などに關心を持ち、社会運動への政府の対応に着目させる。</p> <p>○国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究の風潮、歐米の科学技術の導入、高い就学率を誇る教育の普及・拡充に着目して、国民が主体的に文化の創造に取り組んできた姿勢を考察させる。</p> <p>○第一次世界大戦による大正政権以前、政党勢力が国民統合の中心的役割を果たしていく過程を理解し、欧米からアジアに至るまでの範囲の國際環境の推移に着目し、対華二十一ヶ条要求・シリアル出兵が国内外に及ぼした影響について考察させる。大戰景気による資本主義の発展による産業構造の変化や労働者の増加など社会構造の変化について考察できたら。また、米艦動や原爆内閣の成立・治安維持法の成立などに着目して政党政治を考察させる。</p> <p>○ケルサユイ体制やワシントン体制に至る経過や日本の大陸進出に対する中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目させる。労働争議・小作争議・女性解放運動・節制放送運動・社会主義運動など様々な社会運動が起こってきた背景に着目できたら。普選運動・護憲三派内閣の成立・治安維持法の成立などに着目して政党政治を考察させる。</p>	<p>1. 開国と幕末の動乱(8)</p> <p>2. 明治維新と富国強兵(12)</p> <p>3. 立憲国家の成立と日清戦争(8)</p> <p>4. 日露戦争と国際関係(8)</p> <p>5. 近代産業の発展(4)</p> <p>6. 近代文化の発達(4)</p> <p>1. 第一次世界大戦と日本(8)</p> <p>2. ワシントン体制(6)</p> <p>3. 市民生活の変容と大衆文化(2)</p> <p>4. 恐慌の時代(10)</p> <p>5. 軍部の台頭(10)</p> <p>6. 第二次世界大戦(10)</p>		
	第10章 二つの世界大戦とアジア (46)				
	10				
	11				
	12	第11章 占領下の日本 (12)			
		第12章 高度成長の時代 (11)			
		第13章 激動する世界と日本 (7)			

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任										
地理歴史	地理B	2	3年次・理系	内山 直希・吉田 崇										
使用教科書	新詳地理B（帝国書院）			使用副教材	詳解現代地図（二宮書店） フォトグラフィア地理図説（とうほう）									
科目的目標										道徳教育のねらい				
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。										地域・社会・世界に対する認識を深め、社会の一員としての必要な自覚を養う。				
市函D P（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）														
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力			
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察														
1 3章 人口、村落・都市		○	○	○					○		○			
2 4章 生活文化、民族・宗教		○	○	○					○		○			
第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察														
3 1章 現代世界の地域区分		○												
4 2章 現代世界の諸地域		○	○								○			
5 3章 現代世界と日本			○	○										
6 グループワーク				○	○	○	○	◎		◎	○			
7 課題提出				○	◎		○		○		○			
8 考査		○	○					○	○	◎				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断			技能・表現			知識・理解						
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。			地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取つたり図表などにまとめたりしている。			現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けていく。						
評価の方法	小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。	定期考査や小テスト、課題などにより、系統地理的、地誌的に考察し、判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、地図や統計、画像などの資料を活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。						

地理理系後半 授業計画

授業計画				実施状況		
	月(時数)	単元・考查等(配当時数)	学習のねらい	学習内容(配当時間)	単元実施時数	実施反省
前 期	4月	第II部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口、村落・都市(10)	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフなどの資料を読み取り、世界及び日本の人口問題について考察し表現する。 ・資料を活用して都市や村落について理解し、都市・居住問題の解決について考察し結果をまとめる。 	1節 世界の人口(1.5) 2節 人口問題(1.5) 3節 村落と都市(4) 4節 都市・居住問題(3)		
	5月	4章 生活文化、民族・宗教(9) 前期中間考查(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化や民族の特徴や分布について理解する。 ・現代世界の民族・領土問題の現状について理解し、課題を考察する。 	1節 世界の衣食住(2) 2節 民族と宗教(2) 3節 現代世界の国家(1) 4節 民族・領土問題(4)		
	6月	第III部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分(0.7)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な観点から、地域区分や地誌の考察ができるこを理解する。 	1節 地域区分とは何か(0.7)		
	7月	2章 現代世界の諸地域(35.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・中国や朝鮮半島について、自然や産業、隣国との交流などの観点から考察する。 	1節 地域の考察方法(0.3) 2節 東アジア(5)		
	8月		<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジア・南アジアについて、自然や産業、宗教などの多様な事象を項目ごとに整理して考察する。 	3節 東南アジア(4) 4節 南アジア(2.5)		
	9月	前期期末考查(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアと中央アジアについて、自然や文化、資源・産業などの面において類似的な二つの地域を比較して考察する。 	5節 西アジアと中央アジア(3)		
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、自然や歴史的背景などの観点から二つの地域を比較して考察する。 	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ(2.5)		
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパについて、自然や産業、EUなどの事象を項目ごとに整理して考察する。 	7節 ヨーロッパ(5)		
	12月	後期中間考查(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアについて、産業などの項目を歴史的背景や日本との交流に着目して考察する。 ・アングロアメリカについて、自然や産業、国際社会との関係に留意して考察する。 ・ラテンアメリカとオセアニアについて、文化や産業などの事象を歴史的背景と関連づけて考察する。 	8節 ロシア(2.5) 9節 アングロアメリカ(5) 10節 ラテンアメリカ(3) 11節 オセアニア(2.5)		
後 期	1月	3章 現代世界と日本(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界における日本について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の日本のあり方などについてまとめる。 	1節 日本が抱える地理的な諸課題(0.3) 2節 日本の抱える課題の追究(1.7)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任										
地理歴史	地理B演習	4	3年次・文系	内山 直希										
使用教科書	新詳地理B（帝国書院）			使用副教材	詳解現代地図（二宮書店） フォトグラフィア地理図説（とうほう）									
科目的目標				道徳教育のねらい										
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。										地域・社会・世界に対する認識を深め、社会の一員としての必要な自覚を養う。				
学習活動内容			市函D.P.（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
			基礎力	思考力	主体的 学習力	情報力	自己理解・ 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力		
			○	○										
				○	○							○		
			○	○	○							○		
			○	○	○							○		
			○	○	○							○		
			○	○	○							○		
			○	○	○							○		
			○	○	○							○		
			○	○	○							○		
			○	○	○							○		
評価の観点			関心・意欲・態度		思考・判断		技術・表現		知識・理解					
			現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。		現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りたり図表などにまとめたりしている。		現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けていく。					
評価の方法			小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、系統地理的、地誌的に考察し、判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、地図や統計、画像などの資料を活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。					

地理B演習 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 2章 現代世界の諸地域(27)	・西、中央アジアについて、自然や産業、宗教などの多様な事象を項目ごとに整理して考察する。	5節 西アジアと中央アジア(3)		
	5月	・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、自然や歴史的背景などの観点から二つの地域を比較して考察する。	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ(3)		
	6月 前期中間考査(1)	・ヨーロッパとロシアについて、自然や産業、日本との関わりなどの事象を項目ごとに整理して考察する。	7節 ヨーロッパ(5) 8節 ロシア(3)		
	7月	・アングロアメリカについて、自然や産業、国際社会との関係に留意して考察する。	9節 アングロアメリカ(4)		
	8月	・ラテンアメリカとオセアニアについて、文化や産業などの事象を歴史的背景と関連づけて考察する。	10節 ラテンアメリカ(4) 11節 オセアニア(3)		
	9月 前期期末考査(1) 第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図(3) 2章 地図の活用と地域調査(2)	・現代世界における日本について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の日本のあり方などについてまとめる。 ・地図の種類や特性、地域調査等について、演習問題に取り組み、理解を深める。	1節 日本が抱える地理的な諸課題(0.3) 2節 日本の抱える課題の追究(1.7) 1.2節 地図の発達、種類とその利用(1) 3節 地理情報の地図化(2) 1.2節 地図の活用と地域調査(2)		
	10月 第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境(17) 2章 資源と産業(17)	・自然環境について、演習問題に取り組み、理解を深める。 ・世界と日本の資源と産業について、演習問題に取り組み、理解を深める。	1.2節 世界の地形と気候(8) 3節 日本の自然の特徴と人々の生活(4.5) 4節 環境問題(4.5) 1.2節 世界の農林水産業と食料問題(5) 3節 世界のエネルギー・鉱産資源(3.5) 4節 資源・エネルギー問題(3.5) 5節 世界の工業(4) 6~8節 第3次産業、交通・通信と貿易、経済圏(1)		
	11月 3章 人口、村落・都市(10) 4章 生活文化、民族・宗教(9) 第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分(0.7) 2章 現代世界の諸地域(29.3)	・世界や日本の人口問題と村落や都市とその居住問題について、演習問題に取り組み、理解を深める。 ・生活文化や民族・宗教と領土問題について、演習問題に取り組み、理解を深める。 ・世界各地域の自然や産業、文化等と日本との結びつきについて、演習問題に取り組み、理解を深める。	1.2節 世界の人口と人口問題(5) 3,4節 村落と都市、居住問題(5) 1.2節 世界の衣食住、民族と宗教(5) 3,4節 現代世界の国家と領土問題(4) 1節 地域区分とは何か(0.7) 2~5節 アジア(6.3) 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ(3.5) 7,8節 ヨーロッパ、ロシア(10) 9,10節 アングロ、ラテンアメリカ(7) 11節 オセアニア(2.5)		
	12月 1月 後期中間考査(1) 3章 現代世界と日本(2)	・現代世界と日本について、日本が抱える地理的な諸課題の解決や将来の日本のあり方などについてまとめる。	1節 日本が抱える地理的な諸課題(0.3) 2節 日本の抱える課題の追究(1.7)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任													
使用教科書	現代社会（東京書籍）			使用副教材		要点マスター 現代社会演習ノート											
科目の目標								道徳教育のねらい									
人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自らの人間としての在り方生き方にについて考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。								卒業後に実社会で生活していく上で必要な知識、教養を身につけさせ、政治面や経済面、あるいは国際関係などの面で人間としての在り方や生き方を考えていく。									
学習活動内容								市函D P（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）									
								1	2	3	4	5					
								基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力					
1 第1部 わたしたちの生きる社会								○	○	○							
2 第2部 現代の社会と人間								○	○	○							
3 第1章 青年期と自己形成の課題								○	○	○	○	○					
4 第2章 日本国憲法と民主政治								○	○	○							
5 第3章 現代社会と法								○	○	○							
6 第4章 現代の経済と国民福祉								○	○	○							
7 第5章 国際社会と人類の課題								○	○	○							
8 第3部 ともに生きる社会を目指して								○	○	○	○	○					
9																	
10 グループワーク								◎	○	○	○	○					
11 課題提出								○	○	○	○	○					
12 考査								◎	○		○	○					
評価の観点				関心・意欲・態度			思考・判断		技能・表現		知識・理解						
				現代社会の基本的问题に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、現代社会に生きる人間としての在り方生き方にについて自覚を深めようとする。			現代社会の基本的问题と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方にについて広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。		現代社会の基本的问题と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。		現代社会の基本的问题と人間としての在り方生き方にかかる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。						
評価の方法				課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢全般において、意欲的に取り組んだかを評価する。			授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢、及び定期考査から、思考・判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。		定期考査や課題などにより、資料などを活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。		定期考査などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。						

現代社会 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月	第1部 わたしたちの生きる社会 (4) 1 地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題の現状について把握させるとともに、これらの問題は自分たちにとって身近な問題であることに気づかせる。 ・資源・エネルギーの利用において国家間の利害が衝突している現状を認識させる。どのようにエネルギー問題にあつては、国内の情勢だけでなく国際的な動向にも注目させ、原子力や新エネルギーによる発電がどうあるべきか考察させる。 ・人類の福祉という観点から、科学技術はどのように利用されるべきかを考察させる。 ・情報化社会における課題を踏まえたうえで、情報化社会に生きるためにモラルやルールについてどのような規制や法整備によって調整を行っていくべきかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.地球環境問題(4) 2.資源・エネルギー問題 3.科学技術の発達と生命 4.情報化の進展と生活 1.現代社会と青年(4) 2.青年期の発達課題 3.自己形成と社会のかかわり 4.道徳と生きがいの創造 1.哲学と人間 2.宗教と人間 3.近代科学の考え方 4.人間の尊厳 1.民主政治の成立 (3) 2.基本的人権の成立 3.世界の政治体制 1.日本国憲法と三つの原理 2.基本的人権の保障(1) 3.基本的人権の保障(2) 1.国会と立法 2.内閣と行政 1.選挙のしくみと課題 (4) 2.政党と利益団体 3.世論と政治参加 		
	5月	2資源・エネルギー問題 3科学技術の発達と生命 4情報化の進展と生活				
	6月	第2部 現代の社会と人間 (10) 第1章 青年期と自己形成の課題 1 青年期の自己の形成 2 よりよく生きることを求めて	<ul style="list-style-type: none"> ・人種の種性という観点から、科学技術はどのように利用されるべきかを考察させる。 ・情報化社会における課題を踏まえたうえで、情報化社会に生きるためにモラルやルールについてどのような規制や法整備によって調整を行っていくべきかを考えさせる。 ・世界の主要な国の政治体制を比較しながら理解させるとともに、最も美しい政治や主権者としての参政の在り方について考えさせる。 ・自己理解を進め、自己形成の課題を考察し、勤労観、職業観を含め、どのように社会参加を果たしていくのか、など自らの人間としての在り方生き方について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.人間の尊嚴 (7) 5.人間性の回復を求めて 6.日本の伝統思想の考え方 7.外来思想の受容と日本人の自觉 		
	7月	第2章 日本国憲法と民主政治 (19) 1 民主政治とは (前期中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義などを理解させ、民主政治において主体的に生きる人間としての在り方生き方を考えさせる。 ・議会制民主主義と権力分立について、その意義や多数決の原理や運用方法などを理解させるとともに、民主政治の権力分立の意義を法の支配や基本的人権の保障と関連づけて理解を深めさせる。 ・民主政治のもとでは、国家の行為に対して最終的には国民自身が責任をもつことになるというこを理解させる。 ・法に関する基本的な考え方を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.日本国憲法と三つの原理 2.基本的人権の保障(1) 3.基本的人権の保障(2) 4.新しい人権と人権保障の広がり 5.平和主義と安全保障(1) 6.平和主義と安全保障(2) (7) 3.裁判所と司法 4.地方自治 		
	8月	2 日本国憲法の基本原理				
	9月	3 日本の政治機構 4 現代政治の特質と課題 第3章 現代社会と法 (前期期末考査)				
	10月	第4章 現代の経済と国民福祉 (19) 1 経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・激動する経済社会について、様々な角度から理解を深めさせ、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察させる。 ・金融の意義や役割を理解させるとともに、金融政策の目的と手段について理解させる。 ・新聞記事を題材にし、現実の動きと関連させて説明する。 ・政治・経済の学習内容と関連させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.経済社会の変容 2.現代の企業 3.市場経済のしくみ 4.国民所得と経済成長 5.金融のしくみと動き (8) 6.中央銀行の役割と金融の自由化 7.政府の役割と財政 		
	11月	2 变化する日本経済 3豊かな生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・都市型・生活型公害や身近な環境汚染の事例をもとに、その解決には法整備だけではなく、個人や企業にも社会的な責任が課されていることに気づかせる。 ・近年の雇用や労働の動向を、経済社会の変化や国民の労働権の確保の観点から考察させる。 ・人間として生活が保護される社会保障制度の意義や役割を理解させるとともに、医療・介護・年金などの保険制度にみられる現状と課題を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.戦後復興と高度経済成長 (5) 2.産業構造の転換と国際経済環境の変化 3.ノブル後の日本経済 4.中小企業と農業 1.自立した消費者への道 2.労働者の権利 3.現代の雇用・労働問題 4.社会保障の役割 (6) 5.環境保全と循環型社会 		
	12月	第5章 國際社会と人類の課題 (18) 1 國際政治のしくみと動向 (後期中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際法の意義について理解する。 ・国際連合の目的、平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。 ・第二次世界大戦以降の国際政治体制を理解し、その課題を考察する。 ・核軍拡競争の背景と核軍備管理と軍縮実現の方法を考察する。 ・人種・民族問題の背景と国際的な人権保障の現状を理解し、人権問題の解決について考察する。 ・貿易に関する基本的立場の違いを確認し、国際収支表、外国為替市場を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際経済を概観し、理解する。 ・地域経済統合の目的やグローバル化する世界経済の現状を理解し、国際経済に与える影響や課題を考察する。 ・国際社会における貧困や格差について理解するとともに、先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.国際社会の特質 2.国際紛争を避けるしくみ 3.国際連合と安全保障 4.国際連合の役割と課題 (7) 5.冷戦とその後の世界 6.軍縮への取り組み 1.貿易と国際分業 (5) 2.外国為替のしくみと国際収支 3.戦後国際経済の枠組みとその変化 4.対立と協調の時代 5.グローバル化する経済 1.地域統合の進展 (6) 2.変容する世界経済 3.国際的な格差の是正 4.地域紛争と難民問題 5.国境を越えて広がる地域規模の課題 6.日本の役割 		
後 期	1月	2 国際経済のしくみと動向 3 国際社会の現状と課題 第3部 ともに生きる社会をめざして				

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任						
公民	倫理	2	3年次	二瓶 賢一						
使用教科書	清水書院「高等学校 新倫理 新訂版」		使用副教材	第一学習社「テオーリア 最新倫理資料集新版二訂」						
科目的目標				道德教育のねらい						
青年期における自己形成や人間としてのあり方・生き方などに関する基本的な事項を生きる主体としての自己確立の課題と関連づけて理解し、人格形成に活かす知識として身につける。				社会のあり方を考察する基準としての正義・幸福・構成の理解を通して現代社会の課題を取り上げ、人間のあり方・生き方にについて理解させる。						
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
学習活動内容										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解・ 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力	
1 第1編 現代に生きる自己の課題	○	○	○				○		○	
2 第2編 人間としての自覚と生き方										
3 第1章 人生における哲学	○	○	○				○		○	
4 第2章 人生における宗教	○	○	○				○		○	
5 第3章 人生の知恵	○	○	○				○		○	
6 第4章 人生における芸術	○	○	○				○		○	
7 第3編 現代社会と倫理										
8 第1章 現代の倫理的課題	○	○	○				○		○	
9 第2章 現代に生きる人間の倫理	○	○	○				○		○	
10 第4編 国際社会に生きる日本人の自覚										
11 第1章 日本の風土と外来思想の受容	○	○	○				○		○	
12 第2章 現代の日本と日本人としての自覚	○	○	○				○		○	
13 第5編 現代の諸課題と倫理	○	○	○				○		○	
14 復習と演習	○	○	○						○	
15 グループワーク			◎	○	◎		◎	○	○	
16 課題提出		○	◎		○		○	◎	○	
17 考査	○	○					○	◎		
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解					
評価の方法		青年期の課題、宗教や哲学などの人類の英知、現代社会の諸問題についての関心を高め、人間のあり方・生き方について自覚を深め、人格形成への実践的意欲を高める。	青年期の自己形成と人間としてのあり方・生き方について思考を深め、広い視野から主体的に判断し、表現する。	さまざまな宗教・哲学に関する資料や現代社会の諸問題に関する資料を主体的に収集・選択し、考察した内容について適切な表現をする。	定期考査や小テスト、課題などにより、情報の収集・分析・精査する力を活用できるかどうか、またそれを適切に表現できるかどうかを評価する。	定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付け、人間としてのあり方について理解を深めたかどうかを評価する。				

倫理 授業計画

学習指導計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	第1編 現代に生きる自己の課題(2) 第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学(6) 第2章 人生における宗教(6)	青年期特有の問題をふまえ、人間としてのあり方・生き方について考える。 ・さまざまな地域と時代を代表する先哲の思想を学び、人間としての自覚を深め、自らの人間観の確立に役立てる。	青年期の意義と自己形成(1) 青年期の課題と生き方(1) 古代ギリシア思想(5) ヘレニズムの思想(1) ユダヤ教・キリスト教(3) イスラーム(1) 仏教(2) 中国思想(5) 芸術と人生(1)		
	5月					
	6月	(前期中間考査(1)) 第3章 人生の知恵(5) 第4章 人生における藝術(1)				前
	7月	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題(1) 第2章 現代に生きる人間の倫理(16)	・現代の倫理的課題をとらえさせ、今日に生きる人間の課題について理解させる。 人間の尊厳・自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、自己実現と幸福などについて、他者とともに生きる自己の生き方の課題として考えさせる。	「近代」とは何か(1) ルネサンス・宗教改革・モラリストの思想(3) 経験論・合理論(2) 社会契約説・啓蒙思想(2) 観念論・功利主義・プラグマティズム(3) 社会主義・実存主義(3) 現代のヒューマニズム(1) 現代思想(2)		期
	8月					
	9月	(前期期末考査(1))				
	10月	第4編 國際社会に生きる日本人の自覚 第1章 日本の風土と外來思想の受容(15)	日本文化の特質について自己との関わりにおいて理解させ、國際社会における日本人としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。 ・他の国々の文化や考え方を理解し、尊重する態度を養うとともに、日本の文化が外來文化を受容しながら形成された面に留意する。	日本の風土と日本人の世界觀(2) 仏教(4) 儒教(4) 近世の思想と文化(1) 国学(2) 近代日本の思想(2) 現代日本の思想(1)		
後期	11月	(後期中間考査(1)) 第2章 現代の日本と日本人としての自覚(1)				後
	12月 ～	第5編 現代の諸課題と倫理(3) (復習と演習(1))	人類のさまざまな倫理的課題を自己の課題とつなげて追求させる。 要点整理	生命倫理・環境倫理(1) 家族・地域社会・情報社会(1) 異文化理解(1) プリントなどを用いた要点整理(1)		期

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任												
公民	政治・経済	2	3年次	上村 恵理												
使用教科書	高校政治・経済 新訂版（実教出版）			使用副教材	政治・経済資料2021（とうほう） ニューコンパスノート政治経済 2021											
科目的目標										道徳教育のねらい						
広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。										卒業後に実社会で生活していく上で必要な知識、教養を身につけさせ、政治面や経済面、あるいは国際関係などの面で人間としての在り方や生き方を考えていく。						
市函D.P.（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）																
学習活動内容																
1 第1編 現代の政治	基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力						
1 1章 民主政治の基本原理	○	○	○					○		○						
2 2章 日本国憲法の基本的性格	○	○	○					○		○						
3 3章 日本の政治機構	○	○	○					○		○						
4 4章 現代日本の政治	○	○	○					○		○						
5 5章 現代の国際政治	○	○	○					○		○						
第2編 現代の経済																
6 1章 経済社会の変容	○	○	○					○		○						
7 2章 現代経済のしくみ	○	○	○					○		○						
8 3章 現代経済と福祉の向上	○	○	○					○		○						
9 4章 世界経済と日本	○	○	○					○		○						
第3編 現代社会の諸課題	◎	◎	◎		○			○		○						
10 グループワーク	◎	○	◎	○	◎		◎	○	○	○						
11 課題提出	○	◎		○		○		○	○	○						
12 考査	◎	○					○	◎		○						
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断			技能・表現			知識・理解							
	現代の政治経済や国際関係についての関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追求するとともに、客観的に考えようとする態度や姿勢が身についたか。		現代の政治経済や国際関係に関わる事象から課題を見いだし、その課題の本質や望ましい解決のあり方などについて、広い視野に立って多角的かつ多面的に考察し、様々な立場を踏まえて公正に判断しているか。			現代の政治経済や国際関係に関わる諸資料を様々な手段を通して収集し、集めた情報を主体的に選択し、有用に活用できているか。			現代の政治経済や国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけることができたか。							
評価の方法	小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢全般において、意欲的に取り組んだかを評価する。			授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢、及び定期考査から思考・判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、資料などを活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。			定期考査や小テストなどにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。						

政治・経済 授業計画

授業計画				実施状況
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	
前期	4月 オリエンテーション 第1編 現代の政治 1章 民主政治の基本原理 5 2章 日本国憲法の基本的性格 5	・民主政治の成り立ちとしくみを理解する ・日本国憲法の成立、平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。	1 政治と法 5 2 民主政治と人権保障の発展 3 国民主権と民主主義の発展 4 世界の政治体制 1 日本国憲法の成立 5 2 平和主義 3 基本的人権の保障 4 人権のひろがり 1 立法 2 行政 4 3 司法 4 地方自治	
	5月 3章 日本の政治機構 5	・国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているのかを理解し、他の国と比べて今後の課題とは何かを考える。	1 戦後政治の歩み 3 2 選挙制度と政党 1 3 政治参加と世論	
	6月 4章 現代日本の政治 前期中間考査(1) 2	・戦後政治の流れを学習し、日本の政治が抱える問題点等について考える。主権者として望ましいあり方を学習する。	1 戦後政治の歩み 3 2 選挙制度と政党 1 3 政治参加と世論	
	7月 5章 現代の国際政治 6	・国際政治と国際法の意義、核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。	1 国際政治の特質と国際法 6 2 国際連合と国際協力 3 現代国際政治の動向 4 核兵器と軍縮 5 国際紛争と難民 6 国際政治と日本	
	8月 第3編 現代社会の諸課題 2	・教科書にある1~10の課題の中から複数を選択し、代表的な考え方を比べた上で望ましい解決方法を考える。	現代課題の諸課題 2	
	9月 第2編 現代の経済 1章 経済社会の変容 3 前期期末考査(1)	・経済活動の意義 2 ・経済主体の役割などの学習を通して経済活動がどのように調整されているのかを考える。 3 ・国民の生活や社会保障問題の役割などについて学習し、様々な課題に対してどのように取り組むべきかを考える。 4 ・世界経済について理解し、日本との関わりについて考える。	1 経済活動の意義 2 経済社会の形成と変容 1 3 グローバル化と現代資本主義経済 4 1 市場機構 8 2 現代の企業 3 国民所得と経済成長 4 金融のしくみ 5 財政のしくみ 1 1 戦後復興と経済成長 9 2 経済の停滞と再生 3 日本の中小企業と農業 4 国民の暮らし 1 5 環境保全と公害防止 6 労使関係と労働条件の改善 1 1 商品・資本の流れと国際収支 8 2 国際経済体制の変化 3 金融のグローバル化と世界金融危機 4 地域経済統合と新興国の台頭 5 経済協力と人間開発の課題	
後期	10月 2章 現代経済のしくみ 12	・経済活動の意義について理解し、現代の経済のあり方を理解すると同時に現代経済についての知識を身につける。		
	11月 後期中間考査(1) 9	・経済主体の役割などの学習を通して経済活動がどのように調整されているのかを考える。		
	12月 3章 現代経済と福祉の向上 4章 世界経済と日本 8	・国民の生活や社会保障問題の役割などについて学習し、様々な課題に対してどのように取り組むべきかを考える。		
	1月	・世界経済について理解し、日本との関わりについて考える。		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

科目	単位数	年次・コース	教科担任	
公民	社会教養	2	3年次	
使用教科書	なし		使用副教材	なし

科 目 の 目 標

- ・現代社会に関する様々な時事的事象についての理解と認識を深める。
 - ・ニュースや新聞記事などの題材から物事を論理的に考え、表現する力を養う。
 - ・現代社会に生きる人間としてのあり方、生き方について多面的に考える力を養う。

道徳教育のねらい

現代社会の課題を取り上げ、人間の在り方や生き方について理解させる。

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	現代社会の基本的問題に対する関心を高め、意欲的に課題を追究し人間としてのあり方、生き方について自覚を深めようとする。	自ら課題を見いだし、広い視野に立って多角的かつ多面的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	諸資料を多くの媒体から収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身につける。	現代社会の課題について基本的な事柄や、学びについて理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法	毎時の提出課題(ワークシート、レポート、小論文等)の内容について、意欲的に取り組んだかを評価する。	授業中の発表・発言・討議などに取り組む姿勢、及び定期考査から、思考・判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。	必要な資料などを適切に活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。	レポート等の課題達成状況から、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。

社会教養 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月	オリエンテーション				
	5月	政治・経済・国際社会に関する基本的事項の理解と、現代社会の課題への考察 (30)	・各種資料や新聞記事などを使用しながら、政治、経済、国際社会の基礎知識を身につける。 ・公務員試験、大学入試の過去問を用いながら、現代社会の諸問題について考察し、理解を深めるとともに文章表現の力を身につける。自分の進路に関連したニュースや出来事などから、自己の進路意識を高める。	・メディアリテラシーを養うため、各新聞の比較やインターネット上のニュースの比較等を行う(10) ・政治経済や国際情勢に関する基本的な知識や一般常識を身につけられるよう、公務員試験、大学入試の過去問や各種教材を使いながら学習を進める(10) ・ニュースや新聞を題材にしたレポート作成、調べ学習、プレゼンなど(10)		
	6月		※就職者の場合は必要に応じて面接に向けた対策などを行う。			
	7月					
	8月					
	9月					
後 期	10月					
	11月	政治・経済・国際社会に関する基本的事項の理解と、現代社会の課題への考察演習等 (30)	・各自で興味・関心のある課題から、テーマを設定し、図書館やインターネットなどを利用しながら資料を作成し、発表する。	・現代社会の諸課題から、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する(10)		
	12月		・進学者の場合は推薦においては面接に向けた指導や論文指導を行い、一般受験の場合は地歴・公民科科目の補強等も行う。	・政治経済や国際情勢に関する基本的な知識や一般常識を身につけられるよう、公務員試験、大学入試の過去問や各種教材を使いながら学習を進める(20)		
	1月					

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任									
数学	数学II	4	3年次・数学II 選択者		竹内 巧・照井広志・畠澤貴幸									
使用教科書	東京書籍 「数学I Standard」 東京書籍 「数学A Standard」 数研出版 「改訂版高等学校数学II」 数研出版 「改訂版高等学校数学B」		使用副教材		• 2022 共通テスト対策 実力養成 重要問題演習 数学 (Learn-S) • 大学入学共通テスト対策／基本と演習 数学 I A + II B 標準演習PLAN100 (数研出版)									
科目的目標			道徳教育のねらい											
数学I・数学A・数学IIおよび数学Bの学習内容について、演習問題を解きながら復習し、基礎事項の確認を図るとともに、実践力を養うことを目標とする。問題集を主に使用しながら、入試問題、とくに大学入学共通テストに対応できるよう、問題を精選して演習する。			数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることで、また、生徒が事象を数理的に考察し、道筋を立てて考え、表現をする能力を高めることで、道徳的判断力を養う。											
学習活動内容			市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
			1 基礎力	2 思考・分析力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己認知・ 肯定力	6 他者 理解力	7 発信・ 表現力	8 計画 実行力	9 ストレス 対応力	10 問題解決・ 創造力		
1 数学 A 2 章 整数の性質		○	○	○					○		○			
2 数学 II 1 章 方程式・式と証明		○	○	○					○		○			
3 数学 II 4 章 指数関数・対数関数		○	○	○					○		○			
4 数学 II 5 章 微分と積分		○	○	○					○		○			
5 数学 A 3 章 図形の性質		○	○	○					○		○			
6 数学 I 4 章 図形と計量		○	○	○					○		○			
7 数学 II 3 章 三角関数		○	○	○					○		○			
8 数学 A 1 章 場合の数と確率		○	○	○					○		○			
9 数学 II 2 章 図形と方程式		○	○	○					○		○			
10 数学 B 2 章 ベクトル		○	○	○					○		○			
11 数学 I 1 章 数と式		○	○	○					○		○			
12 数学 B 1 章 数列		○	○	○					○		○			
13 数学 I 3 章 2次関数		○	○	○					○		○			
14 数学 I 5 章 データ分析		○	○	○					○		○			
15 グループワーク			○	○	○	○	○	◎	◎	○	○			
16 課題提出				○	◎		○		○	◎	○			
17 考査および単元テスト		○	○	○					○		○			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方			数学的な技能			知識・理解						
	数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。			事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。			原理・原則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけていく。						
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。													
	関心・意欲・態度	授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	他の資料							
	数学的な見方や考え方	○	◎	○	○	○								
	数学的な技能	○		○	○									
	知識・理解	○	○	○	○	○								

数学Ⅱ 授業計画

授業計画					実施状況
月 (時数)	単元・検査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4. (12)	数学 A 2 章 整数の性質	・約数や倍数について、整数の性質やユークリッドの互除法を活用する力を養う。	積分・課題確認テスト (1) 1. A 整数の性質 (5) (9題)	
		数学 II 1 章 方程式・式と証明	・等式や不等式を証明することで、論理的思考力を養い、式と証明についての理解を深める。数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようとする。	2. II 式と証明、複素数と方程式 (7題) (5)	
	5 (15)	数学 II 4 章 指数関数・対数関数	・指數・対数関数について理解し、関数についての理解を深め、活用できるようとする。	1~2. 単元テスト (1) 3. II 指数関数・対数関数 (5) (7題)	
		数学 II 5 章 微分と積分	・微分・積分の考え方を理解し、面積を求めることができるようとする。	4. II 微分と積分 (5) (10題)	
		数学 A 3 章 図形の性質	・三角形や円の図形の性質について理解を深め、図形の性質を論理的に考察し処理することができるようとする。	5. A 図形の性質 (5) (8題)	
	6 (17)	数学 I 4 章 図形と計量	・図形の計量の性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、活用できるようとする。	3. 前期中間検査 (1) 6. I 図形と計量 (5) (10題)	
		数学 II 3 章 三角関数	・三角関数について理解し、関数についての理解を深め、活用できるようとする。	7. II 三角関数 (5) (7題)	
		数学 A 1 章 場合の数と確率	・不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようとする。	4. 単元テスト (1) 8. A 場合の数と確率 (5) (9題)	
後期	7 (10)	数学 II 2 章 図形と方程式	・座標や式を用いて、基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、事象の考察に活用できるようとする。	9. II 図形と方程式 (5) (7題)	
		数学 B 2 章 ベクトル	・ベクトルについての概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、活用できるようとする。	5~6. 単元テスト (1) 10. B ベクトル (4) (10題)	
	8 (10)	数学 I 1 章 数と式	・不等式の解法ができるとともに、論理的な思考力を伸ばし、それらを命題などの考察に活かすことができるようとする。	10. B ベクトル (1) (10題)	
		数学 B 1 章 数列	・簡単な数列とその和及び漸化式について理解し、それらを事象の考察に活用できるようとする。	11. I 数と式 (5) (6題) 12. B 数列 (4) (10題)	
	9 (13)	数学 I 3 章 2次関数	・関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、2次不等式を解くことなどに活用できるようとする。	7~8. 前期期末検査 (1) 12. B 数列 (1) (10題)	
		数学 I 5 章 データ分析	・2つのデータの関連性などを分析する力を養う。	13. I 2次関数 (5) (10題) 14. I データの分析 (5) (6題) 9. 単元テスト (1)	
	10 (15)		・3年間および、3年次前期の学習内容を基に、入試に向けて演習を行い、大学入学共通テストに対応できる力を養う。	演習 (14) 10. 単元テスト (1)	77
	11 (15)			演習 (14) 12. 単元テスト (1)	
	12 (13)			演習 (12) 11. 13~14. 後期中間検査 (1)	43 120

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
数学	数学III	6	3年次		奥田章二・竹内 巧								
使用教科書	教研出版 「改訂版 高等学校 数学III」			使用副教材	教研出版「改訂版 クリアー 数学III 完成ノート」 教研出版「改訂版 チャート式基礎からの数学III」								
科目の目標					道徳教育のねらい								
平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。					数学を活用して考えたり判断したりしようと/orする態度や、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることで、また、生徒が事象を数理的に考察し、道筋を立てて考え、表現をする能力を高めることで、道徳的判断力を養う。								
学習活動内容			市国DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
1 第3章 関数	○	○	○							○			
2 第4章 極限 第1節 数列の極限	○	○	○							○			
3 第4章 極限 第2節 関数の極限	○	○	○							○			
4 第5章 微分法 第1節 導関数	○	○	○							○			
5 第5章 微分法 第2節 いろいろな関数の導関数	○	○	○							○			
6 第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用	○	○	○							○			
7 第6章 微分法の応用 第2節 いろいろな応用	○	○	○							○			
8 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分	○	○	○							○			
9 第7章 積分法とその応用 第2節 定積分	○	○	○							○			
10 第7章 積分法とその応用 第3節 積分法の応用	○	○	○							○			
11 第1章 複素数平面	○	○	○							○			
12 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線	○	○	○							○			
13 第2章 式と曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	○	○	○							○			
14 数学IIIの応用演習	○	○	○	○				○		○			
15 グループワーク		○	○	○	○	◎	◎		○	○			
16 課題提出	○	○	◎		○			○	◎	○			
17 考査	○	○					◎	○		○			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方			数学的な技能			知識・理解					
	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身につけている。			平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。			平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。												
	関心・意欲・態度	○	◎					○					
	数学的な見方や考え方	◎		◎	◎				◎				
	数学的な技能	○		○	○				○				
	知識・理解	◎	○	○	○	○		○					

数学III 授業計画

授業計画					実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)		学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前期	4 (23)	第3章 関数 【単元テスト】	(9)	簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求める。	第3章 関数(7) 【演習・単元テスト】(2)	9	
	5 (21)	第4章 極限	(23)	数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	第1節 数列の極限(9) 【演習・単元テスト】(2) 第2節 関数の極限(10) 【演習・単元テスト】(2)	23	
	6 (15)	第4章 微分 【前期中間考査】	(16)	関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。三角関数、指數関数及び対数関数の導関数を求める。	第1節 導関数(6) 第2節 いろいろな関数の導関数(8) 【演習・前期中間考査】(2)	16	
	7 (17)	第5章 微分の応用	(20)	導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概計をかいだりする。また、それらを事象の考察に活用する。	第1節 導関数の応用(11) 【演習・単元テスト】(2) 第2節 微分のいろいろな応用(5) 【演習・単元テスト】(2)	20	
	8 (10)	第6章 積分	(36)	積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	第1節 不定積分(6) 【演習・単元テスト】(2) 第2節 定積分(12) 【演習・単元テスト】(3)	36	
	9 (18)	【前前期末考査】			第3節 積分法の応用(10) 【演習・前前期末考査】(3)		

数学III 授業計画

授業計画					実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)		学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
後	10 (26)	第1章 複素数平面 第2章 式と曲線	(17) (18)	平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	第1章 複素数平面(15) 【演習・単元テスト】(2) 第1節 2次曲線(10)	17	
	11 (24)	数学IIIの応用演習 【後期中間末考査】	(40)	数学IIIの内容全体について、国公立大学2次試験、記述試験に対応できる実力養成のため、応用問題演習に取り組む。	第2節 媒介変数表示と極座標(4) 【演習・単元テスト】(2) 【後期中間考査】(1)	18 40	
	12 (26)						

(76)

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任												
数学	数学研究A	4	3年次・数学研究A 選択者					奥田章二・照井広志・畠澤貴幸									
使用教科書	東京書籍 「数学I Standard」 東京書籍 「数学A Standard」 教研出版 「改訂版高等学校数学II」 教研出版 「改訂版高等学校数学B」					使用副教材		・2022 共通テスト対策 実力養成 重要問題演習 数学 (Learn-S) ・大学入学共通テスト対策／基本と演習 数学 I A + II B 標準演習PLAN100 (教研出版)									
科 目 の 目 標		道徳教育のねらい															
数学I・数学A・数学IIおよび数学Bの学習内容について、演習問題を解きながら復習し、基礎事項の確認を図るとともに、実践力を養うことを目標とする。問題集を主に使用しながら、入試問題、とくに大学入学共通テストに対応できるよう、問題を精選して演習する。		数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることで、また、生徒が事象を数理的に考察し、道筋を立てて考え、表現をする能力を高めることで、道徳的判断力を養う。															
学習活動内容			市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)														
			1 基礎力	2 思考・分析力	3 主体的学習力	4 傾聴力	5 自己認知・肯定力	6 他者理解力	7 発信・表現力	8 計画実行力	9 ストレス対応力	10 課題解決・創造力					
1 数学 A 2 章 整数の性質		○	○	○					○		○						
2 数学 II 1 章 方程式・式と証明		○	○	○					○		○						
3 数学 II 4 章 指数関数・対数関数		○	○	○					○		○						
4 数学 II 5 章 微分と積分		○	○	○					○		○						
5 数学 A 3 章 図形の性質		○	○	○					○		○						
6 数学 I 4 章 図形と計量		○	○	○					○		○						
7 数学 II 3 章 三角関数		○	○	○					○		○						
8 数学 A 1 章 場合の数と確率		○	○	○					○		○						
9 数学 II 2 章 図形と方程式		○	○	○					○		○						
10 数学 B 2 章 ベクトル		○	○	○					○		○						
11 数学 I 1 章 数と式		○	○	○					○		○						
12 数学 B 1 章 数列		○	○	○					○		○						
13 数学 I 3 章 2次関数		○	○	○					○		○						
14 数学 I 5 章 データ分析		○	○	○					○		○						
15 グループワーク			○	○	○	○	○	◎	◎	○	○						
16 課題提出				○	◎		○			○	◎						
17 考査および単元テスト		○	○	○					○								
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方			数学的な技能			知識・理解									
	数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。			事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。			原理・原則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。									
次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。																	
評価の方法	授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	他の資料											
	○	◎			○												
	○		○	○							○						
	○	○	○	○	○						○						

数学研究A 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 (12)	数学 A 2 章 整数の性質	・約数や倍数について、整数の性質やユークリッドの互除法を活用する力を養う。	積分・課題確認テスト (1) 1. A 整数の性質 (5) (9題)		
		数学 II 1 章 方程式・式と証明	・等式や不等式を証明することで、論理的思考力を養い、式と証明についての理解を深める。数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようとする。	2. II 式と証明、複素数と方程式 (7題) (5)		
	5 (15)	数学 II 4 章 指数関数・対数関数	・指數・対数関数について理解し、関数についての理解を深め、活用できるようとする。	1~2. 単元テスト (1) 3. II 指数関数・対数関数 (5) (7題)		
		数学 II 5 章 微分と積分	・微分・積分の考え方を理解し、面積を求めることができるようとする。	4. II 微分と積分 (5) (10題)		
		数学 A 3 章 図形の性質	・三角形や円の図形の性質について理解を深め、図形の性質を論理的に考察し処理することができるようとする。	5. A 図形の性質 (5) (8題)		
	6 (17)	数学 I 4 章 図形と計量	・図形の計量の性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、活用できるようとする。	3. 前期中間考査 (1) 6. I 図形と計量 (5) (10題)		
		数学 II 3 章 三角関数	・三角関数について理解し、関数についての理解を深め、活用できるようとする。	7. II 三角関数 (5) (7題)		
		数学 A 1 章 場合の数と確率	・不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようする。	4. 単元テスト (1) 8. A 場合の数と確率 (5) (9題)		
	7 (10)	数学 II 2 章 図形と方程式	・座標や式を用いて、基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、事象の考察に活用できるようとする。	9. II 図形と方程式 (5) (7題)		
		数学 B 2 章 ベクトル	・ベクトルについての概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、活用できるようとする。	5~6. 単元テスト (1) 10. B ベクトル (4) (10題)		
	8 (10)	数学 I 1 章 数と式	・不等式の解法ができるとともに、論理的な思考力を伸ばし、それらを命題などの考察に活かすことができるようする。	10. B ベクトル (1) (10題)		
		数学 B 1 章 数列	・簡単な数列とその和及び漸化式について理解し、それらを事象の考察に活用できるようする。	11. I 数と式 (5) (6題) 12. B 数列 (4) (10題)		
	9 (13)	数学 I 3 章 2次関数	・関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、2次不等式を解くことなどに活用できるようする。	7~8. 前期期末考査 (1) 12. B 数列 (1) (10題)		
		数学 I 5 章 データ分析	・2つのデータの関連性などを分析する力を養う。	13. I 2次関数 (5) (10題) 14. I データの分析 (5) (6題) 9. 単元テスト (1)		
後期	10 (15)		・3年間および、3年次前期の学習内容を基に、入試に向けて演習を行い、大学入学共通テストに対応できる力を養う。	演習 (14) 10. 単元テスト (1)	77	
	11 (15)			演習 (14) 12. 単元テスト (1)		
	12 1 (13)			演習 (12) 11. 13~14. 後期中間考査 (1)	43	
						120

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任																								
数学	数学研究B	2	3年次・数学研究B 選択者	奥田章二・竹内 巧																								
使用教科書	東京書籍 「数学I Standard」 東京書籍 「数学A Standard」 数研出版 「改訂版高等学校数学II」 数研出版 「改訂版高等学校数学B」			使用副教材	2022 共通テスト対策 実力養成 重要問題演習 数学 (Learn-S) 大学入学共通テスト対策／基本と演習 数学 I A + II B 標準演習PLAN100 (数研出版)																							
科目の目標		道徳教育のねらい																										
数学I・数学A・数学IIおよび数学Bの学習内容について、演習問題を解きながら復習し、基礎事項の確認を図るとともに、実践力を養うことを目標とする。問題集を主に使用しながら、入試問題、とくに大学入学共通テストに対応できるよう、問題を精選して演習する。		数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることで、また、生徒が事象を数理的に考察し、道筋を立てて考え、表現をする能力を高めることで、道徳的判断力を養う。																										
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)																												
学習活動内容																												
1 数学 A 2 章 整数の性質	2	3	4	5	6	7	8	9	10																			
基礎力	思考・分析力	主体的学習力	傾聴力	自己認知・肯定力	他者理解力	発信・表現力	計画実行力	ストレス対応力	課題解決・創造力																			
1 数学 A 2 章 整数の性質	○	○	○					○		○																		
2 数学 II 1 章 方程式・式と証明	○	○	○					○		○																		
3 数学 II 4 章 指数関数・対数関数	○	○	○					○		○																		
4 数学 II 5 章 微分と積分	○	○	○					○		○																		
5 数学 A 3 章 図形の性質	○	○	○					○		○																		
6 数学 I 4 章 図形と計量	○	○	○					○		○																		
7 数学 II 3 章 三角関数	○	○	○					○		○																		
8 数学 A 1 章 場合の数と確率	○	○	○					○		○																		
9 数学 II 2 章 図形と方程式	○	○	○					○		○																		
10 数学 B 2 章 ベクトル	○	○	○					○		○																		
11 数学 I 1 章 数と式	○	○	○					○		○																		
12 数学 B 1 章 数列	○	○	○					○		○																		
13 数学 I 3 章 2次関数	○	○	○					○		○																		
14 数学 I 5 章 データ分析	○	○	○					○		○																		
15 グループワーク		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																	
16 課題提出			○	○	○			○	○	○	○																	
17 考査および単元テスト	○	○	○					○																				
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方			数学的な技能			知識・理解																				
	数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。			事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。			原理・原則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけていく。																				
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。																											
	授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料																						
	○	○			○																							
	○		○	○																								
	○		○	○																								

数学研究B 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 (6)	数学 A 2 章 整数の性質	・約数や倍数について、整数の性質やユークリッドの互除法を活用する力を養う。	積分・課題確認テスト (1) 1. A 整数の性質 (2) (9 題)	
		数学 II 1 章 方程式・式と証明	・等式や不等式を証明することで、論理的思考力を養い、式と証明についての理解を深める。数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようになる。	2. II 式と証明、複素数と方程式 (7 題) (2)	
				1~2. 単元テスト (1)	
	5 (7)	数学 II 4 章 指数関数・対数関数	・指數・対数関数について理解し、関数についての理解を深め、活用できるようになる。	3. II 指数関数・対数関数 (2) (7 題)	
		数学 II 5 章 微分と積分	・微分・積分の考えを理解し、面積を求めることができるようになる。	4. II 微分と積分 (3) (10 題)	
		数学 A 3 章 図形の性質	・三角形や円の図形の性質について理解を深め、図形の性質を論理的に考察し処理することができるようになる。	5. A 図形の性質 (2) (8 題)	
	6 (8)	数学 I 4 章 図形と計量	・図形の計量の性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の考え方の有用性を認識するとともに、活用できるようになる。	3. 前期中間考査 (1) 6. I 図形と計量 (2) (10 題)	
		数学 II 3 章 三角関数	・三角関数について理解し、関数についての理解を深め、活用できるようになる。	7. II 三角関数 (2) (7 題)	
		数学 A 1 章 場合の数と確率	・不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようになる。	4. 単元テスト (1) 8. A 場合の数と確率 (2) (9 題)	
後期	7 (6)	数学 II 2 章 図形と方程式	・座標や式を用いて、基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、事象の考察に活用できるようになる。	9. II 図形と方程式 (3) (7 題)	
		数学 B 2 章 ベクトル	・ベクトルについての概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、活用できるようになる。	5~6. 単元テスト (1) 10. B ベクトル (2) (10 題)	
	8 (5)	数学 I 1 章 数と式	・不等式の解法ができるとともに、論理的な思考力を伸ばし、それらを命題などの考察に活かすことができるようになる。	11. I 数と式 (2) (6 題)	
		数学 B 1 章 数列	・簡単な数列とその和及び漸化式について理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	12. B 数列 (3) (10 題)	
後期	9 (6)	数学 I 3 章 2次関数	・関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、2次不等式を解くことなどに活用できるようになる。	7~8. 前期末考査 (1) 13. I 2次関数 (3) (10 題)	
		数学 I 5 章 データ分析	・2つのデータの関連性などを分析する力を養う。	14. I データの分析 (2) (6 題)	38
	10 (7)		・3年間および、3年次前期の学習内容を基に、入試に向けて演習を行い、大学入学共通テストに対応できる力を養う。	演習 (6) 9. 単元テスト (1)	
	11 (7)			演習 (6) 10. 単元テスト (1)	
	12 1 (8)			演習 (6) 11~12. 単元テスト (1) 13~14. 後期中間考査 (1)	22

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
理科	物理(後半)	2	3年次		藤井 隆徳								
使用教科書	東京書籍 「物理」			使用副教材	数研出版「リードLightノート物理」 駿台文庫「センター試験物理 単元問題集」								
科目の目標									道徳教育のねらい				
1. 物理的な事物・現象に対する探究心を高める。 2. 目的意識を持って観察・実験などを行い、物理的に探求する能力と態度を身に付ける。 3. 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身に付ける。 4. 科学技術の在り方について意思決定するために必要な、科学的な見方や考え方を身に付ける。									科学的に探求する能力と態度と自然観を学び、それらを日常的に積極的に活用する態度を育てる。				
市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)													
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解・ 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力		
1	電界と電位	○	○					○					
2	電流	○	○					○					
3	電流と磁界	○	○	○			○						
4	電磁誘導と電磁波	○	○								○		
5	電子と光	○		○									
6	原子と原子核	○		○									
7	グループワーク			○	○	○	○	○	○	○			
8	考查	○				○		○			○		
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断			技能			知識・理解					
	物理現象に対して、興味・関心を高めて、知的好奇心をもって問題を見いだし、主体的に解決する態度を養う。	自らが見付けた課題に対し、目的意識をもち、見通しをもって観察・実験などに取り組む態度を養う。			探究活動を通して、仮説、観察・実験、結果、考察、法則性の導出、発表から物理学的に探究する技能・表現を養う。			観察・実験などを通じて得られた結果から、物理的な事象・現象の基本概念や原理・法則などの習った知識・理解を深める。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。												
	授業での取組	課題への取組	定期考查		単元テスト		その他の資料						
	○	○											
	○			○		○				○			
	○			○		○				○			

物理（後半） 授業計画

授業計画					実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)		単元 実施 時数	実施反省
前 期	4 5 6 7 8 9	第4編 電気と磁気 1章 電界と電位 2章 電流 3章 電流と磁界 前期中間考查 4章 電磁誘導と電磁波 前期期末考查	電気や磁気に関する現象を探求し、電気と磁気に関する基本的な概念や法則を系統的に理解する。	コンデンサー 電流 直流回路 磁界（磁場） 電流のつくる磁界 電流が磁界から受ける力 ローレンツ力 電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流 電磁波	5 3 6 3 2 2 2 4 2 8 4	
	10	第5編 原子 1章 電子と光	電子、原子及び原子核に関する現象を探求し、原子についての基本的な概念や法則を理解する。	電子	2	
	11	2章 原子と原子核		光の粒子性	4	
	12	後期中間考查		物質の波動性	1	
	1			原子の構造	4	
				原子核	1	
				原子核の崩壊	2	
				核反応と核エネルギー	3	
				素粒子	2	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
理科	化学（後半）	3	3年次	鈴木史則							
使用教科書	改訂版 化学（数研出版）			使用副教材	大学入学共通テスト対策問題集 化学（実教出版） リードlightノート四訂版（数研出版）						
科目の目標					道徳教育のねらい						
化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。					物質の多様性や、人間生活との関わりについて正しく理解することで、現代社会において生きる力を養うとともに、科学リテラシーを育む。						
市函DP（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）											
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力
1 物質の変化と平衡		○	○					○			
2 無機物質		○	○					○			
3 有機化合物		○	○	○			○				○
4 高分子化合物		○	○								○
5 グループワーク				○	○	○	○		○	○	
6 考査		○				○		○			○
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断			技能	知識・理解				
		化学の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的态度を身に付けている。	化学の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			観察、実験の基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。				
次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。											
評価の方法		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	その他の資料					
		○	○								
		○		○	○	○					
		○		○	○	○					
		○	○	○	○	○					

化学（後半） 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 第3編 無機物質 (3 4) 第1章 非金属元素	100種類以上ある元素も、その性質によっていくつかのグループに分けて考えるとより理解しやすい。元素を周期表に基づいて分類し、それに合わせて単体や化合物の性質を広く学ぶ。	元素の分類と周期表 (1) 水素 (2) 希ガス元素 (2) ハロゲン元素 (2) 酸素・硫黄 (2) 窒素・リン (2) 炭素・ケイ素 (2)		
	5 第2章 金属元素 (I) —典型元素—	金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習する。	アルカリ禁元素 (2) 2属元素 (2) アルミニウム・亜鉛 (2) スズ・鉛 (2)		
	6 第3章 金属元素 (II) —遷移元素—	遷移金属元素は典型元素とは異なり、互いに性質がある程度似通っているので、族の分類と関係なく学ぶほうが現実的である。身近な元素を中心に、単体や化合物、イオンなどの特徴的な性質を学ぶ。	遷移元素の特徴 (2) 鉄 (1) 銅 (1) 銀 (1) 金・クロム・マンガン (2) 金属イオンの分離・確認 (4)		
	7 前中期中間考查 (1) 第4編 有機化合物 (2 3) 第1章 有機化合物の分類と分析	有機化合物は、生命体と密接な関係がある。有機化合物の特徴や分類法、成分元素の検出等を学ぶ。	有機化合物の特徴と分類(1) 有機化合物の分析(2)		
	8 第2章 脂肪族炭化水素	脂肪族炭化水素の命名法や性質、単結合、二重結合、三重結合など分子の構造について学ぶ。	飽和炭化水素 (2) 不飽和炭化水素 (2)		
	9 第3章 アルコールと関連化合物	酸素を含む有機化合物の代表として、アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステルなどについて、特徴的な性質を学ぶ。	アルコールとエーテル (2) アルデヒドとケトン (2) カルボン酸 (2) エステルと油脂 (2)		
	10 第4章 芳香族化合物	芳香族化合物はベンゼン環という特異的な原子集団を有する。ニトロ化、ハロゲン化、スルホン化など主要な反応とそれらによって作り出される代表的な化合物について学習する。	芳香族化合物 (2) フェノール類 (2) 芳香族カルボン酸 (2) 芳香族アミンとアゾ化合物 (2) 有機化合物の分離 (2)		
	11 前前期期末考查 (1)				
後期	10 第5編 高分子化合物 (3 7) 第1章 高分子化合物の性質	高分子化合物のモノマー、ポリマーの構造や性質について学ぶ。	高分子化合物の構造と性質 (2)		
	11 第2章 天然高分子化合物	生体を構成する有機化合物にはどのようなものがあるのか、また組成や構造がその性質とどのように関連しているか理解する。	天然有機化合物の種類 (2) 单糖・二糖 (5) 多糖 (3) アミノ酸 (5) タンパク質 (5) 核酸 (2)		
	12 第3章 合成高分子化合物	合成高分子化合物は用途によって分類すれば、合成繊維と合成樹脂などになるがそれぞれの材料の組成や構造がその特性とどのように関連しているか理解し、化学的な理解を深める。	合成高分子化合物 (2) 合成繊維 (4) 合成樹脂 (4) 天然ゴムと合成ゴム (3)		
	1 後期中期中間考查 (1) 演習問題 (8)		演習問題 (8)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
理科	生物(後半)	2	3年次		栃木 一晃								
使用教科書	生物(数研出版)			使用副教材	リードLightノート 生物(数研出版) チェック&演習生物(数研出版)、生物図録(数研出版)								
科 目 の 目 標							道徳教育のねらい						
生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などをを行うことを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。 (1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。							自然の事物・現象を探求する活動を通して、地球の環境や生態系のバランスなどについて考えさせ、自然と人間との関わりについて認識させることで、生命を尊重し、自然科学の保全に寄与する態度の育成につなげる。見通しをもって観察、実験などを行うことで、科学的に探究する力を育て、科学的に探究しようとする態度を養い、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度の育成する。						
学習活動内容			市面D P(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力				
1 第7章 生物群集と生態系	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2 第8章 生命の起源と進化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3 第9章 生物の系統	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4 定期考查	◎	◎					○	○			◎		
5 小テスト 単元テスト	◎	○					○				◎		
6 課題提出(問題集)	○	○	◎		○	○	○	△			○		
7 課題提出(レポート等)	◎	○	◎		○	○	○	○			○		
8 グループ活動 等	△	◎	○	○	○	○	△	○	○	○	○		
9 実験実習 等	△	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		観察・実験の技能			知識・理解					
	生物や生物現象に関心や探究心をもち主体的に探究しようとするとともに、科学的态度を身に付けています。		生物や生物現象の中に問題を見いだし探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方的確に表現している。		生物や生物現象に関する観察、実験などをを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けています。			生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けています。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。												
	授業での取組	課題への取組	定期考查	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料							
	○	◎			○								
	◎		○	○							○		
	○	○	○	○							○		

生物（後半） 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 5	第7章 生物群集と生態 (15)	<p>個体群や生物群集について、それぞれの特徴を学習する。その際、生物群集はさまざまな個体群の集まりによって構成されており、それぞれの個体群は、生態系内で特定の役割を果たしていることを理解させる。</p> <p>次に、生態系における物質生産について学習する。その際、いくつかの生態系の物質生産の特徴や各栄養段階とエネルギー効率の関係について学習する。さらに、生物多様性に影響を与える要因を理解させ、生物多様性の重要性を認識させる。</p>	1 個体群 2 個体群内の個体間の関係 3 異種個体群間の関係 4 生物群集 5 生態系における物質生産 6 生態系における物質生産 探求活動 1 7 単元のまとめ	
	6 7	第8章 生物の起源と進化 (15)	<p>生命の起源および生物の変遷を学習する。その際、生命の誕生や生物の変遷は、地球環境の変化と密接に関係していることを理解させる。生物の進化については、そのしくみを学習する。そのうえで、分子進化の概念や種分化のしくみについても学習する。</p>	1 生命の起源 2 生物の変遷 3 進化のしくみ 探求活動 2 4 単元のまとめ	
	8 9	第9章 生物の系統 (20)	<p>生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解させる。その際、形態的な特徴にもとづいた分類ばかりでなく、近年では、DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列といった分子データにもとづいて系統関係が調べられていることについても扱う。個々の分類群については、その概要を学習する。</p>	1 生物の分類と系統 2 原核生物 3 原生生物 4 植物 5 動物 6 菌類 7 探求活動 8 単元のまとめ	
後期	10 ~ 1	まとめ (20)		まとめ	15

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
理科	物理研究	2	3年次		藤島 謙								
使用教科書				使用副教材									
科 目 の 目 標									道徳教育のねらい				
物理的な事物・現象に関する基本的な原理・法則を理解すると共に、身のまわりの事物・現象を物理的に探究する方法を身に付ける。									物理的な事物・現象に対する関心や探求心を高め、自然環境や地球環境との関係について理解させ、持続可能な社会の構築や生き方について考えさせる。				
学習活動内容			市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
1 運動とエネルギー	基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力			
2 熱	○	○	○					○					
3 波	○	○	○					○					
4 電気	○	○		○				○					
5 分野横断的な課題		○					○			○			
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19 課題提出		○	◎		○		○		◎	○			
20 考査	○	○					○	○					
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断			技能・表現		知識・理解					
	物理的な事物・現象に関する関心や意欲・態度について、授業中の様子や課題の取り組み状況などから評価する。		物理的な事物・現象に対する思考・判断について課題の取り組み状況や定期考査、小テストなどから評価する。			授業中の発言や説明、定期考査や小テストの記述を要する問題などから評価する。		物理的な事物・現象に関する知識・理解については定期考査や小テスト、課題などから評価する。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。												
	関心・意欲・態度		○	◎					○				
	物理的な見方や考え方		◎		○	○		◎		○			
	物理的な技能		○		○	○		◎		○			
	知識・理解		○	○	○	○		○					

物理研究 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 (5)	1. 運動とエネルギー 2. 热 3. 波	<p>物体の運動を表すには、物体の位置やその他の物理量を時間の関数として表すことを理解する。</p> <p>その後に、力や仕事、エネルギーといった概念がどのように定義されていったか理解を深める。</p>	運動の表し方 運動の法則 仕事と力学的エネルギー	20	
	5月 (7)					
	6月 (8)		<p>物体内部に蓄えられたエネルギーが移動する際に熱という形態を取ることを理解する。</p>	熱とエネルギー	4	
	7月 (4)					
	8月 (5)		<p>波が伝播する単振動であることを理解し、どのような性質を持つのか考察する。</p> <p>また、身近な波である音について理解を深める。</p>	波の性質 音	12	
	9月 (7)					
後期	10月 (7)	4. 電気	<p>物性と電流の流れ方の関係について基本的な理解を確認し、ある程度複雑な回路についても考察する。</p> <p>日常生活に利用される交流と電磁波については何回にならない程度に理解を深める。</p>	物質と電気抵抗 交流と電磁波	15	
	11月 (8)					
	12月 (6)	5. 分野横断的な課題	<p>単独の分野だけでは解決されない課題について、問題を切り分け、単純化した答えを集積・構成することによって答える方法を学ぶ。</p>	実践的な課題演習	9	
	1月 (3)					

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任											
理科	化学研究	2	3年次		小町金平・下村 薫・鈴木史則・柄木一晃											
使用教科書	化学基礎改訂版(啓林館)				使用副教材	大学入試共通テスト対策・チェック&演習 化学基礎										
科目の目標							道徳教育のねらい									
化学的な事物・現象に関する基本的な原理・法則を理解すると共に、身のまわりの事物・現象を化学的に探究する方法を身に付ける。							化学的な事物・現象に対する関心や探求心を高め、自然環境や地球環境との関係について理解させ、持続可能な社会の構築や生き方について考えさせる。									
学習活動内容			市函D P(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
			基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力				
1	物質の特性と素材	○		○	○											
2	化学変化と日常生活への活用	○	○	○					○							
3	物質の定量的变化	○	○						○							
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18	グループワーク		○	○	○	○	○	○	○	○	○					
19	課題提出		○	○		○	○	○	○	○	○					
20	考查	○	○					○	○	○						
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断			技能・表現			知識・理解								
	化学的な事物・現象に関する関心や意欲・態度について、授業中の様子や課題の取り組み状況などから評価する。	化学的な事物・現象に対する思考・判断について課題の取り組み状況や定期考査、小テストなどから評価する。			授業中の発言や説明、定期考査や小テストの記述を要する問題などから評価する。			化学的な事物・現象に関する知識・理解については定期考査や小テスト、課題などから評価する。								
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						授業での取組	課題への取組	定期考査	小テスト	実験・実習	その他の資料				
	関心・意欲・態度	○	○							○						
	化学的な見方や考え方	○			○				○	○		○				
	化学的な技能	○			○				○	○		○				
	知識・理解	○	○	○	○			○	○	○						

化学研究 授業計画

授業計画					実施状況	
	月(時数)	単元・考査等(配当時数)	学習のねらい	学習内容(配当時間)	単元実施時数	実施反省
前期	4月(5)	1. 物質の特性と素材 a. 物質の特性(6)	<p>物質は、原子を化学結合で組み合わせて構成されている。本単元では、物質の特性と原子、化学結合との関係を系統的に理解する。その上で、日常生活で活用されている素材の特性を理解する。</p> <p>また、新素材の性質を従来の素材と比較しながら学び、その特性が生まれる過程を系統的に探求する。</p>	a. 物質の特性 ①主な物質の特性(3) ②特性と粒子の関係(3)		
	5月(7)	b. 粒子のつながり(8)		b. 粒子のつながり ①結合と性質の関係(4) ②物質の変化と結合(4)		
	6月(8)	c. 素材の性質(5)		c. 素材の性質 ①従来素材の特徴(2) ②新素材の性質と探求(3)		
	<前期中間考査>(1)					
	7月(4)	2. 化学変化と日常生活への活用	<p>化学変化の前後では、物質の物理的、化学的性質が大きく変化する。</p> <p>本単元では、主な化学変化の特徴を理解し、化学反応の応用でもたらされる効果、及び実際の活用事例について、理解を深めていく。</p>	a. 主な化学変化と特徴 ①主な化学変化と特徴の比較(1) ②化学変化と性質の変化(2)		
	8月(5)	a. 主な化学変化の特徴(3)		b. 化学反応のもたらす効果 ①主な化学反応の実験と考察(4) ②期待される効果と留意すべき現象(3)		
	9月(7)	b. 化学反応のもたらす効果(7)		c. 化学反応の活用事例 ①主な工業的製法とその理論(5)		
	<前期期末考査>(1)					
後期	10月(8)	d. 化学反応とエネルギー(5)	化学反応に伴い発生するエネルギーについて、その発生過程と活用のあり方について、探求する。	d. 化学反応とエネルギー ①化学反応で生み出すエネルギー(5)		
	11月(8)	3. 物質の定量的变化 a. 化学反応と物質量変化(4)	<p>化学変化を伴う物質の変化は、状態や性質などの物性が大きく変化する。その変化を理解するためには、物質の定量的变化を把握し、考察していくことが大切である。本単元では、物質量や濃度の変化と物性の変化の関係について考察を深めていき、系統立てて説明できる力を養う。</p>	a. 化学反応と物質量変化 ①化学の諸法則と物質量(2) ②物質量の概念で考察する化学変化(2)		
		b. 化学反応と濃度変化(4)		b. 化学反応と濃度変化 ①濃度表現の比較(2) ②化学反応・濃度変化と物性の関係(2)		
	12月(6)	c. 化学反応式の定量的関係(8)		c. 化学反応式の定量的関係 ①化学変化の定量的なとらえ方(3) ②化学反応の定量的变化と物性の関係(5)		
	<後期中間考査>(1)			d. 酸化還元反応 ①日常生活と酸化還元(2)		
	1月(2)	d. 酸化還元反応(2)				

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任										
理科	生物研究	2	3年次		小松祥秀										
使用教科書	生物基礎（数研出版）			使用副教材	チェック&演習 生物基礎（数研出版）										
科 目 の 目 標		道徳教育のねらい													
生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などをを行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。		自然の事物・現象を探求する活動を通して、地球の環境や生態系のバランスなどについて考えさせ、自然と人間との関わりについて認識させることで、生命を尊重し、自然科学の保全に寄与する態度の育成につなげる。見通しをもって観察、実験などを行うことで、科学的に探究する力を育て、科学的に探究しようとする態度を養い、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度の育成する。													
(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。		(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。													
学習活動内容		市西D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
		基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解・ 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力				
1	第1章 生物の特徴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
2	第2章 遺伝子とそのはたらき	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
3	第3章 生物の体内環境	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
4	第4章 植生と多様性の分布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
5	第5章 生態系とその保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
6	定期考查	◎	◎			◎					◎				
7	小テスト 単元テスト	◎	○						○		◎				
8	課題提出(問題集)	○	○	◎		○		◎	△		○				
9	課題提出(レポート等)	◎	○	○		○		◎	◎		○				
10	グループ活動 等	△	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎				
11	実験実習 等	△	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	○				
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現			観察・実験の技能			知識・理解							
	生物や生物現象に関心や探究心をもち主体的に探究しようとするとともに、科学的态度を身に付けています。	生物や生物現象の中に問題を見いだし探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方的確に表現している。			生物や生物現象に関する観察、実験などをを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けています。			生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けています。							
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。														
	授業での取組	課題への取組	定期考查	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料									
	○	◎			○										
	◎		○	○						○					
	◎	○	○	○						◎					
	○	○	◎	○	○			○		○					

生物研究 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・検査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4	第1章 生物の特徴 (10)	生物学を学習する上で重要な視点である生物の多様性と共通性について理解する。生物は多様であること、多様な生物にも細胞構造をもつなど共通性があること、その共通性は共通の起源をもつことに由来することを学習する。さらに、酵素のはたらき、光合成と呼吸の学習を通して、生物が代謝によってエネルギーを取り出していることを学習する。	1 生物の多様性と共通性 2 エネルギー代謝 3 光合成と呼吸 4 単元のまとめ	2 2 2 2	
	5			探求活動1	2	
後期	6	第2章 遺伝子とそれはたらき (15)	遺伝情報を担う物質であるDNAについて、その構造、および遺伝情報は塩基配列にあることを理解する。次に転写と翻訳の概要から、生命現象において重要なタンパク質の合成について学習する。さらに、遺伝情報は正確に複製されて受け継がれること、それぞれの細胞ではすべての遺伝子が発現しているわけではないことについて学習する。	1 遺伝情報とDNA 2 遺伝情報の発現 3 遺伝情報の分配 4 単元のまとめ	4 4 4 2	
	7			探求活動2	1	
	8	第3章 生物の体内環境 (16)	動物の体内の細胞にとって、体液は一種の環境(体内環境)である。この章では体内環境がいかにしてほぼ一定に保たれているのか、また体内ではどのようなしくみがはたらき、どのように調節が行われているのか、循環系、腎臓と肝臓、自律神経系と内分泌系、免疫について学習する。私たち自身のからだにかかわる内容についてできるだけ身近な話題を取り上げながら理解する。	1 体内環境としての体液 2 腎臓と肝臓による調節 3 神経とホルモンによる調節 4 免疫	2 4 4 4	
	9			探求活動3	2	
	10	第4章 植生の多様性と分布 (15)	植生について、その構造や、遷移とそのしくみについて学習する。さらに、地球上にはさまざまなバイオームが見られること、どのようなバイオームが分布するかは主に気温と降水量によって決まることを、世界と日本のバイオームを取り上げて学習する。	1 植生とその成り立ち 2 植生と遷移 3 気候とバイオーム	4 4 4	
	11			探求活動4	3	
	12	第5章 生態系とその保全 (4)	生態系の成り立ち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて学習する。その上で、生態系はそのバランスが保たれていること、人間の活動が生態系のバランスに大きな影響を与えていることなどを、身近な例から地球レベルの環境問題までを取り上げながら学習し、自然環境を保全することが大切であることを理解する。	1 生態系とその成り立ち 2 物質循環とエネルギー 3 生態系のバランスと保全	1 1 1	
	1			探求活動5	1	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
保健体育	体育	2	3年男子	藤井 守							
使用教科書	現代保健体育（大修館）		使用副教材								
科目的目標			道徳教育のねらい								
健康や体力について合理的に実践し、運動技能を高めるとともに、それらの経験を通して、公正・協力・責任などの態度を育て、強健な心身の発達を促して生涯を通して継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。			集団行動や授業準備、実技において、協力や思いやり、安全指導などを通じて道徳心を育てる。								
学習活動内容		市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信 表現力	9 ストレス コントローラ	10 実践力
1 陸上競技（三段・ジャベリック）	0	0	0		0		0	0			0
2 体づくり運動・体力測定	0				0						
3 体育理論		0		0							
4 サッカーⅡ	0	0	0			0	0	0			0
5 選択球技（バレー・ソフト・サッカー）		0	0			0					0
6 選択Ⅰ（バレーorバスケット）	0	0	0			0	0	0			0
7 選択Ⅱ（男女混合）	0	0	0			0	0	0			0
8 クラス選択球技		0	0			0					0
9											
10											
11											
12											
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	思考力・判断力・表現力等			知識及び技能						
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正・協力・責任・参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防の展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。また、選択した運動の技能（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。								
評価の方法	授業の準備・後片付けなどへの協力姿勢、意欲的な取組・グループでの協力姿勢を評価	授業における練習の取組方、ワークシートでの評価	各種目における実技テスト、記録・発表会での評価、ペーパーテストによる評価								

3年男子体育 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配置時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	陸上競技 (11)	「三段跳び」、「ジャベリック」を実施する。それぞれの種目の技術の修得を目指し理解を深め、記録を測定する。	・基本技術習得のための練習 (9) ・記録測定 (2)		
	5月					
	6月	体つくり運動・スポーツテスト (6)	・集団行動・集団づくり、補強運動、スポーツテストを実施し自らの体力への理解を深め今後の授業にいかす。	・体つくり運動・スポーツテスト (6) . . . 「体ほぐし運動」と「体力を高める運動」を通じて、心と体の状態を把握し仲間とともに運動に親しむための基礎を養う。		
	5月	体育理論 (3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・生涯スポーツの見方、考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ ・日本のスポーツ復興 & スポーツ環境 (各1 h)		
	6月					
	7月	サッカーII (フットサル) (12)	・サッカーを実施し、基礎的技術の他にも集団的プレー (戦術)、ポジションと役割を理解し、ゲームスキルを高め、競技の理解を深める。	・基礎技術の習得 (3) ・グループ、チーム戦術の修得 (5) ・ゲーム形式 (3) ・スキルテスト (1)		
	8月					
	9月	選択球技 (3)	・球技大会で実施する・「バレー」、「ソフト」「サッカー」から種目を選択し、技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。	・球技大会種目の練習 (3)		
	10月	選択I (10)	・「バレーボール」、「バスケットボール」から選択し実施する。技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・班編制、練習計画の作成 (1) ・グループ練習の取り組み (5) ・ゲーム形式、スキルテスト (4)		
	11月					
	10月	体育理論 (3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・オリンピックと国際理解 ・スポーツと経済 ・ドーピングとスポーツ理論 (各1 h)		
	11月					
	12月	選択II (男女混合) (10)	・男女混合選択 ・「バドミントン」、「卓球」、「ソフトバレー」から選択し、実施する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・基本技術習得、グループ技能を高める練習、ゲーム形式 (10)		
	1月	クラス選択球技 (2)	・各クラスで球技を選択し、試合形式を中心に実践する。 ・これまで1年次、2年次で行った種目から複数の種目を実践する。	・2時間程度の球技、試合を中心に実践する。 ・運営、審判など生徒自身で行う		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科 担任						
保健体育	体育	2	3年女子	猪股 整・上島真一						
使用教科書	現代保健体育（大修館）		使用副教材							
科目的目標				道徳教育のねらい						
健康や体力について合理的に実践し、運動技能を高めるとともに、それらの経験を通して、公正・協力・責任などの態度を育て、強健な心身の発達を促して生涯を通して継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。				集団行動や授業準備、実技において、協力や思いやり、安全指導などを通じて道徳心を育てる。						
学習活動内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信 表現力	ストレス コントロール力	実践力
1 バドミントンⅡ	0	0	0			0	0	0		0
2 体つくり運動・体力測定	0				0					
3 体育理論		0		0						
4 選択Ⅰ（バレーorバスケット）	0	0	0			0	0	0		0
5 選択球技（バレー・ソフト）		0	0			0				0
6 ダンスⅢ（創作Ⅱ）		0	0			0	0	0		0
7 選択Ⅱ（男女混合）	0	0	0			0	0	0		0
8 クラス選択球技		0	0			0				0
9										
10										
11										
12										
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	思考力・判断力・表現力等		知識及び技能						
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。		運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防の展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。また、選択した運動の技能（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。						
評価の方法	授業の準備・後片付けなどへの協力姿勢、意欲的な取組・グループでの協力姿勢を評価	授業における練習の取組方、ワークシートでの評価		各種目における実技テスト、記録・発表会での評価、ペーパーテストによる評価						

3年女子体育 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配置時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	バドミントンⅡ (11)	・ダブルスを実施し、専門的な動き、ルールを理解する。基礎技術を習得し、ダブルス特有の戦術を身につけ競技への理解を深める。	・基本技術習得のための練習 (2) ・グループ技能を高める練習 (3) ・ゲーム形式 (6)		
	5月					
	6月	体つくり運動・スポーツテスト (6)	・集団行動・集団づくり、補強運動、スポーツテストを実施し自らの体力への理解を深め今後の授業にいかす。	・体つくり運動・スポーツテスト (6) . . . 「体ほぐし運動」と「体力を高める運動」を通じて、心と体の状態を把握し仲間とともに運動に親しむための基礎を養う。		
	5月	体育理論 (3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・生涯スポーツの見方、考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ ・日本のスポーツ復興 &スポーツ環境 (各1 h)		
	6月					
	7月	選択種目 (12)	・「バレーボール」、「バスケットボール」から選択し実施する。技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・班編制、練習計画の作成 (1) ・グループ練習の取り組み (5) ・ゲーム形式、スキルテスト (6)		
	8月					
	9月	選択球技 (3)	・球技大会で実施する「バレー」、「ソフト」から種目を選択し、技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。	・球技大会種目の練習 (3)		
	10月	ダンスⅢ (10)	・創作ダンスⅡを実施。2年次よりも内容、質、量ともによりも深めたものにする。	・ガイダンス (1) ・創作活動 (8) ・発表会 (1)		
	10月	体育理論 (3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・オリンピックと国際理解 ・スポーツと経済 ・ドーピングとスポーツ理論 (各1 h)		
	11月					
	12月					
	11月	選択Ⅱ (男女混合) (10)	・男女混合選択 ・「バドミントン」、「卓球」、「ソフトバレー」から選択し、実施する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・基本技術習得、グループ技能を高める練習、ゲーム形式 (10)		
	12月					
	1月	クラス選択球技 (2)	・各クラスで球技を選択し、試合形式を中心に実践する。 ・これまで1年次、2年次で行った種目から複数の種目を実践する。	・2時間程度の球技、試合を中心に行う。 ・運営、審判など生徒自身で行う		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任								
音楽	音楽教養	2	3年次	成田 良太								
使用教科書				使用副教材	生徒個々の進路目標に対応した、楽典や練習曲などを使用する。							
科目の目標								道徳教育のねらい				
<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の進路に応じて、自己の音楽的専門性を高める。 生涯にわたり音楽に親しみ、音楽を通じて自己の人生を豊かにする。 								音楽経験をとおして、深い美的情操と豊かな人間性を養い、円満な人格の発達をはかり、社会人としての教養を高める。				
学習活動内容		市面D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力	
1ソルフェージュ	○		○				○					
2歌唱(独唱)	○		○				○					
3器楽(専攻楽器器独奏)	○		○				○					
4鑑賞	○	○		○								
5楽典	○	○										
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18グループワーク		○	○	○	○	◎	○	○	○			
19課題提出		○	◎		○		○	◎	○			
20実技テスト	○	○					○	○				
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断			技能・表現		知識・理解				
	<ul style="list-style-type: none"> 個性豊かで意欲的・主体的に音楽活動を行っているか。 音楽活動の喜びを味わおうとしているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 個性豊かで創造的な音楽活動の工夫をしているか。 			<ul style="list-style-type: none"> 創造的な表現をするための技を身に付けていているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 多様な音楽や音楽文化のよさや美しさを主体的に味わっているか。 				
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。											
	授業での取組		歌唱実技テスト		器楽実技テスト		ミュージックノート		単元テスト		鑑賞レポート	
	関心・意欲・態度		◎									
	思考・判断		◎		○		○					
技能・表現		○		◎		○				○		
知識・理解		○						◎		○		

音楽教養 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	器楽 ソルフェージュ①	ソロ楽器を決定し、発展的な練習計画を立てる コールユーブンゲンNo. 1～No. 10	エチュードの決定と基礎トレーニング 正しい発声と正しいピッチで歌う	6	
	5月	器楽 練習曲の決定 ソルフェージュ②	ソロ曲に取り組む コールユーブンゲンNo. 10～No. 13	個々のレベルに合った曲目を練習する 2拍が1音符となるリズム。	8	
	6月	器楽 ソロ曲の練習① ソルフェージュ③	正しいピッチと旋律の表現 コールユーブンゲンNo. 14～No. 17	楽曲を分析し作曲者の意図を研究する ト長調の歌い方 切分音	8	
	7月	器楽 ソロ曲の練習②	豊かな旋律の表現を心がける	模範演奏を試聴して参考にする	8	
	8月	ソルフェージュ③	コールユーブンゲンNo. 18～No. 19	三度音程・リズムの句文と楽句の切り方		
	9月	ソルフェージュ④	コールユーブンゲンNo. 20～No. 23	2拍以上の拍が1音符となる場合		
後期	10月	器楽 練習曲の決定② ソルフェージュ⑤	演奏レベルの確認 コールユーブンゲンNo. 24～No. 25	難易度の高い曲を選曲する 四度音程	10	
	11月	器楽 ソロ曲の練習③ ソルフェージュ⑥	正しく楽譜を読む コールユーブンゲンNo. 26～No. 27	ゆっくりしたテンポから練習を始める 1拍を2分したリズム・さらに小さい付点音符	10	
	12月 1月	器楽 ソロ曲の練習④ ソルフェージュ⑦	曲全体の表現 コールユーブンゲンNo. 28～No. 29	相互に演奏を聞き合いアドバイスする 8分の3拍子と8分の6拍子	10	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任										
芸術	美術教養	2	3年次	石川絵里子										
使用教科書	なし			使用副教材										
科 目 の 目 標										道徳教育のねらい				
美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育て、生涯にわたり美術を学び親しむための基礎的な技術や美術に対しての教養を養う。										芸術を愛好し、美を探究する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。				
学習活動内容		市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)												
		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力			
1 写真表現の世界		○	○	○		○		○	○	○	○			
2 立体デザイン		○	○	○		○	○	○	○	○	○			
3 映像メディア表現		○	○	○		○	○	○	○	○	○			
4 美術館鑑賞		○	○	○	○	○	○		○					
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断			技能・表現			知識・理解						
	美術の文化を理解し、意欲的に授業に取り組んでいるか	感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか			創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表しているか			美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わうことができるか						
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。													
	授業での取組	作品	発表	鑑賞										
	○	○	○	○										
	○	○	○	○										
	○	○	○	○										
	○	○	○	○										

美術教養 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時 数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	写真表現の世界 立体デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 今や身近なツールであるカメラを用いて、カメラの基礎や基本的な技術を習得することで表現の世界が広がることを理解する 石彫粘土を用いることで自由なかたちを作ることが可能であり、オリジナリティを發揮した作品を生み出す 	<ul style="list-style-type: none"> 写真についての技法を学び、屋外にて実際に撮影する 画像の加工によって新たな世界を表現できることを学ぶ 石彫粘土を用いて、小品（ゆるキャラ）を制作するためのコンセプトを練り、デザインを検討する 制作した作品にアクリルガッシュで彩色し、完成度を高める 	6 20
	8月	美術館鑑賞 (会期に合わせて挿入)	<ul style="list-style-type: none"> 本物の絵画や彫刻に触れ、そのよさを知るとともに美術を愛する心情を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> 函館美術館を訪問し、学芸員の方からの解説を受け、作品を鑑賞する（2） 	
	9月	映像メディア表現 (商品CMの制作)	<ul style="list-style-type: none"> スマホのアプリを活用することで、映像メディアに対する表現力を養うとともに、様々な表現技法や技術を習得し、新たな感性を引き出す 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なCMを鑑賞し、コンセプトを研究し、理解する スマホのアプリを活用し、表現技法を学び、効果的に利用する方法を学ぶ ムービーの内容を検討し、素材を撮影し、様々な加工を行う 途中経過を互いに鑑賞し合い、より高いレベルでの動画の制作を行う（4.4） 	44
	10月 ～ 1月	映像メディア表現（続き）	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが自由に制作したい内容を決め、その計画に沿って卒業制作を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業制作として行いたいことを検討し、各自で制作を行う 	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
芸術	書道教養	2	3年次		磯波 理恵								
使用教科書				使用副教材	プリント書道(教科担任作成資料)								
科 目 の 目 標									道徳教育のねらい				
書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、書写能力と実用書を含む書道全般を学習することを目標とする。									芸術を愛好し、美を探究する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。				
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)													
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		基礎力	思考力	主体的学習	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力		
1 導入・基本姿勢・基本用筆法		○			○						○		
2 楷書		○		○			○				○		
3 行書		○	○	○			○				○		
4 かな		○	○	○			○				○		
5 実用書		○	○	○	○			○			○		
6 漢字かな交じり		○	○	○		○		○	○		○		
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18 探究心プリント		○	○	○		○	○	○	○		○		
19 作品選別・批評会		○	○	○	○	○	○		○	○	○		
20 展覧会レポート課題		○	○	○		○	○		○		○		
評価の観点	关心・意欲・態度	思考・判断			技能・表現			知識・理解					
	技術の向上・表現活動への探 究心、鑑賞活動への積極的参 加	法帖の解釈、ことばの解釈 作品批評			用筆法、構成力、生命感			書道史、書道用語、書道一般 常識					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。												
	関心・意欲・態度	臨書	創作	作品	探究心プリント	作品選別・批評会	展覧会レポート						
	思考・判断	○	○	○	○	○	○						
	技能・表現	○	○	○			○						
	知識・理解	○	○	○	○	○	○						

書道教養 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 導入 基礎練習	姿勢、筆の持ち方、運腕、運筆、用筆	姿勢、筆の持ち方、運腕、運筆 用筆(6)	6	
	5月 楷書	高貞碑	北魏楷書、骨力、直線力、剛腕(7) 作品選別・批評会(1)	8	
	6月	建中告身帖	顔法、筆力、向勢、上下動(7) 作品選別・批評会(1)	8	
	7月 8月	九成宮醴泉銘	初唐楷書、整齊美、バランス(7) 作品選別・批評会(1)	8	
	9月				
	10月				
後 期	11月 行書	温泉銘	行書基本、流動美、(9) 作品選別・批評会(1)	10	
	12月 かな 基礎練習	高野切第三種を基に「いろは」	基本、連綿、整齊美(7) 作品選別・批評会(1)	8	
	1月 実用書 基礎練習	手紙・はがき・その他	基礎、配置、慣用など(6)	6	
	2月 漢字かな交じりの書	近代詩文書	現代書研究・創作自由表現(6)	6	
	3月				

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任										
音楽	音楽専科	2	3年次	成田 良太										
使用教科書				使用副教材	生徒個々の進路目標に対応した、楽典や練習曲などを使用する。									
科 目 の 目 標								道徳教育のねらい						
音楽系大学の受験に向けて、受験科目となる実技の技術向上を目指す。								音楽経験をとおして、深い美的情操と豊かな人間性を養い、円満な人格の発達をはかり、社会人としての教養を高める。						
学習活動内容			市函D P（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
			基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解・ 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力		
1 ソルフェージュ		○		○						○				
2 歌唱(独唱)		○		○						○				
3 器楽(専攻楽器器独奏)		○		○						○				
4 鑑賞		○	○		○									
5 楽典		○	○											
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18 グループワーク			○	○	○	○	○	◎		◎	○	○		
19 課題提出				○	◎		○		○		◎	○		
20 実技テスト		○	○						○	○	◎			
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断			技能・表現			知識・理解					
	・個性豊かで意欲的・主体的に音楽活動を行っているか。 ・音楽活動の喜びを味わおうとしているか。		・個性豊かで創造的な音楽活動の工夫をしているか。			・創造的な表現をするための技能を身に付けていますか。			・多様な音楽や音楽文化のよさや美しさを主体的に味わっているか。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。													
	授業での取組		歌唱実技テスト		器楽実技テスト		ミュージックノート		単元テスト		鑑賞レポート			
	関心・意欲・態度		◎											
	思考・判断		◎	○	○									
	技能・表現		○	○	○	○					○			
	知識・理解		○				○		○	○	○			

音楽専科 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	楽典 譜表と音名 器楽 ソルフェージュ①	楽譜の理解 ソロ楽器を決定し、発展的な練習計画を立てる コンコーネ第1番・新曲視唱	五線・音部記号・譜表・音名・変化記号 エチュードの決定と基礎トレーニング 正しい発声とメロディーの歌い方 正しいピッチと調性感を養う	6	
	5月	楽典 音符と休符 器楽 練習曲の決定 ソルフェージュ②	音符と休符の種類を理解 ソロ曲に取り組む コンコーネ第5番・新曲視唱	音符・休符の種類と長さ・連符・タイ 個々のレベルに合った曲目を練習する へ長調の歌い方	8	
	6月	楽典 リズムと拍子 器楽 ソロ曲の練習① ソルフェージュ③	リズム・拍子の記譜法 正しいピッチと旋律の表現 コンコーネ第13番・新曲視唱	リズム・拍・強拍と弱拍・拍子の種類・ シンコペーション 楽曲を分析し作曲者の意図を研究する ト長調の歌い方	8	
	7月	楽典 音程 器楽 ソロ曲の練習② ソルフェージュ④	音程の理解 豊かな旋律の表現を心がける コンコーネ第3番・新曲視唱	度数・音程の種類・派生音を含む音程 模範演奏を試聴して参考にする ハ長調の歌い方	8	
	9月					
	10月	楽典 音階 器楽 練習曲の決定② ソルフェージュ⑤	長音階・短音階の理解 演奏レベルの確認 コンコーネ第8番・新曲視唱	長音階・短音階・調の相互関係 難易度の高い曲を選曲する 変ホ長調の歌い方	10	
後期	11月					
	12月	楽典 和音 器楽 ソロ曲の練習③	三和音の理解 正しく楽譜を読む	和音の構成音・三和音の種類 ゆっくりしたテンポから練習を始める 相互に演奏を聞き合い、アドバイスする	20	
	1月					

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任
芸術	美術専科	2	3年次	石川絵里子
使用教科書	なし		使用副教材	なし
科目の目標				道徳教育のねらい

美術系の進学に向けて必要となる資質や技術を身に付けるとともに、これまで学んできたことを振り返り、伸ばしていく。

芸術を愛好し、美を探求する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。

学習活動内容	市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
	1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力
1 実技・進路指導	◎	○	◎		○		○	○	○	◎
2 美術館鑑賞		○	○	○	○	○			○	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	美術の文化を理解し、意欲的に授業に取り組んでいるか	感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか	創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表しているか	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わうことができるか

評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。				
	授業での取組	作品	発表	鑑賞	
関心・意欲・態度	○		○	○	
思考・判断	○	○	○		
技能・表現	○	○	○		
知識・理解	○	○	○	○	

美術専科 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施時数	実施反省
前期	4月 実技指導(通年) 進路指導(通年)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒それぞれの進路について面談し、実技試験やその他の受験に合わせた指導を行う。 ・鉛筆デッサン ・木炭デッサン ・着彩 ・小論文 ・自己推薦書 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の進路に応じたデッサンや論文、面接の指導を通して自己実現につなげる 	68	
	8月 美術館鑑賞 (会期に合わせて挿入)	<ul style="list-style-type: none"> ・本物の絵画や彫刻に触れ、そのよさを知るとともに美術を愛する心情を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館美術館を訪問し、学芸員の方からの解説を受け、作品を鑑賞する(2) 	2	
後期	10月 実技指導(通年) 進路指導(通年)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期に学んできたことをより高めていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の進路に応じたデッサンや論文、面接の指導を通して自己実現につなげる 		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任						
芸術	書道専科	2	3年次	磯波 理恵						
使用教科書			使用副教材	中国法書選・日本法書選						
科 目 の 目 標				道徳教育のねらい						
書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、専門的な書写能力と芸術性を探求することを目標とする。				芸術を愛好し、美を探究する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。						
学習活動内容	市町DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
	1 基礎力	2 思考力	3 主体的学習	4 倾聴力	5 自己理解・自己管理力	6 他者理解力	7 計画実行力	8 発信・表現力	9 ストレスコントロール力	10 実践力
1 臨書	○	○	○	○		○	○	○		○
2 創作	○	○	○	○	○	○	○	○		○
3 書道史	○	○	○	○		○				○
4 書論	○	○	○	○		○		○		○
5 作品制作研究	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18 探究心プリント	○	○	○		○	○	○	○		○
19 作品選別・批評会	○	○	○	○	○	○		○	○	○
20 展覧会レポート課題	○	○	○	○	○	○		○		○
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断		技能・表現		知識・理解				
	技術の向上・表現活動への探 究心、鑑賞活動への積極的参 加	法帖の解釈、ことばの解釈 作品批評		用筆法、構成力、生命感		書道史、書道用語、書道一般 常識				
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。									
	関心・意欲・態度	○		○	○	○	○	○		○
	思考・判断	○	○	○	○	○	○	○		○
	技能・表現	○	○	○				○		
	知識・理解	○	○	○		○	○	○		○

書道専科 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時 数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月	作品研究臨書	臨書作品制作	各自選別法帖臨書探究①(10) 書道史(1)	11	
	5月			各自選別法帖臨書探究②(10) 書道史(1)	11	
	6月			各自選別法帖臨書探究③(10) 書道史(1)	11	
	7月					
	8月					
	9月					
後 期	10月	創作	漢字かな交じりの書	漢字かな交じり書基本(3) 作品制作①(10) 作品制作②(8) 作品制作③(6)	13	
	11月				8	
	12月				6	
	1月					
	2月					
	3月					

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任								
外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	4	3年次	菊谷 研司・紙田 清 坂下 美奈子・甲斐 匡倫								
使用教科書	Revised LANDMARK English Communication Ⅲ (啓林館)		使用副教材	Revised LANDMARK English Communication Ⅲ WORKBOOK Standard・生徒用CD(啓林館) / Focus on Listening Pre-Advanced (エミル出版)								
科目の目標				道徳教育のねらい								
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				①言語活動を通じ人間との関わりを築き互いの立場や考えを尊重しながら、伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。 ②各単元の題材を通じ、世の中の様々な事象に関心を持ち、積極的に関わる姿勢を養う。								
学習活動内容		市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理 解・自己 管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信 表現力	ストレス コントロール力	実践力	
1	授業 (リスニング・大意把握)	○		○	○					○		
2	授業 (リーディング・情報整理・内容理解)	○	○				○					
3	授業 (リプロダクション・サマリー)		○	○			○		○			
4	授業 (ペアワーク・グループワーク)				○	○	○		○	○	○	
5	パフォーマンステスト (リーディング)								○		○	
6	パフォーマンステスト (スピーキング)		○	○		○			○	○	○	
7	パフォーマンステスト (ライティング)	○	○	○		○			○		○	
8	定期考查	○	○	○				○			○	
9	リスニング	○	○		○		○			○	○	
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力			言語や文化についての 知識・理解				
	意欲的に授業に臨み、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	テーマについて自分の考え方や意見を英語で話したり書いたりして、表現できるか。			英文を聞いたり読んだりすることで、主題や要点を把握したり、他人の考え方や意見を英語で理解することが出来るか。			文法や語彙、発音等に関する知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解できたか。				
評価の方法	課題の取り組み状況、定期考查の英作文問題、授業内のスピーキング活動を通じて評価する。	定期考查の英作文問題、授業内のライティング活動、授業内で行うスピーキングテストを通じて評価する。			定期考查の初見の英文を使った読解問題、授業内で行うライティング活動を通じて評価する。			授業内で行う小テスト、定期考查の文法問題や語彙問題などを通じ評価する。				

コミュニケーション英語III 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	実施反省	
前	4 (14)	Lesson 1 Caffeine: The World's Favorite Drug (10)	カフェインについて理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
		Lesson 2 Blood Is Blood(10)	人種差別や異文化理解について理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
	5 (16)	Lesson 3 Australia and its Creatures(10)	オーストラリアの環境などについて理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
				前	
	前期中間考査(1)				
	6 (14)	Lesson 4 The \$100,000 Salt and Pepper Shaker (10)	物語を読み、感想や関連する実体験などを英語で伝え合う。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
		Lesson 5 Bilingual Effects in the Brain(9)	外國語学習について理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
	7 (8)	Lesson 6 Communication without Words (9)	様々なコミュニケーションの取り方について理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
	8 (8)			期	
後	前期期末考査(1)				
	9 (14)	Lesson 7 Political Correctness(8)	ポリティカルコレクティズについて理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
		Lesson 8 Animal Math(9)	数学について理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
	10 (16)	Lesson 9 The Story of My Life (9)	自伝を読み、感想や関連する実体験などを英語で伝え合う。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
	11 (16)	Lesson 10 Extinction of Languages (9)	絶滅の危機に瀕する言語について理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
	12 (14)	Lesson 11 Learning a First Culture (9)	子どもの社会性の発達について理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
	後期中間考査(1)				
	1 (2)	Lesson 12 Light Pollution(10)	人工光が引き起こす問題について理解を深め、学んだことを基に英語でコミュニケーションをはかる。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリング (2) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) LISTENINGテキスト (2)	
	Reading The Tablecloth(4)		物語を読み、感想や関連する実体験などを英語で伝え合う。	Reading and summarize (4)	
				期	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース				教科担任								
外国語	英語表現Ⅱ (後半)	2	3年次				菊谷 研司・紙田 清 甲斐 匡倫・佐々木 美香								
使用教科書	Vision Quest English Expression II (啓林館)				使用副教材	Vision Quest English Expression II Hopeワークブック Take a Stance Discussing Today's Controversial Issues 2									
科目の目標										道徳教育のねらい					
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。										英語を通じて、人間との関わりを築き互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。					
学習活動内容			市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1 Essay Writing			○	◎		○				◎		○			
2 Debate				◎		○		◎	○	◎		○			
3 Discussion				◎		○		◎	○	◎		○			
4 Presentation				○		○	○		○	◎	○	○			
5 課題提出				○	◎		○		○						
6 考査			○	○					○		○				
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		外国語表現の能力			外国語理解の能力			言語や文化についての 知識・理解						
	意欲的に授業に臨み、積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとしているか。		テーマについて自分の考え方や意見を英語で話したり書いたりして、表現できるか。			英文を聞いたり読んだりすることで、主題や要点を把握したり、他人の考え方や意見を英語で理解することが出来るか。			文法や語彙、発音等に関する知識や文化的な背景的な知識を身につけ理解できたか。						
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。														
			授業での取組	課題への取組	定期考査	課題確認テスト	その他の資料								
	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		○	◎		○									
	外国語表現の能力		◎		○		○								
	外国語理解の能力		○		○			◎							
	言語や文化についての 知識・理解		○	○	◎	○									

英語表現Ⅱ 授業計画

授業計画					実施状況		
月 (時数)	単元・検査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)		単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4(5)	オリエンテーション UNIT 1 performance test	1 3 1	賛否両論の社会問題を読んで聞いて、論理的思考力とスピーチング力を養う。	SNS (メリットは?リスクは?) writing gender (女性専用列車は不平等?) debate ecology (エコ活動は誰のため?) discussion	1 3 1 3 1 3 1 3 1 1	
	5(8)	UNIT 2 performance test UNIT 3 performance test	3 1 3 1		online game (有意義な娛樂?時間の無駄?) presentation democracy (民主主義は最良の政治体制か?)	3 1 3	
	6(8)	UNIT 4 performance test UNIT 5 performance test 前期中間検査(1)	1 3 1 3 1	①Warm-up questions & Case ②Read on ③Listen to Model opinions & ④Discussion ④Performance Test	writing casino (カジノ合法化への期待と懼れ) debate part-time job (高校時代のアルバイトの是非) discussion globalization (グローバリゼーションの光と影) presentation	1 3 1 3 1 3 1 3 1 1	
	7(4)	UNIT 6 performance test	3 1			3 1	
	8(4)	UNIT 7 performance test	3 1			3 1	
	9(8)	UNIT 8 performance test 前期期末検査(1)	3 1 1			3 1 1	
		UNIT 9 performance test	3 1			3 1	
					AI (人工知能は人間を超える?) writing	1 1	
	10(8)	UNIT 10 performance test UNIT 11 performance test	3 1 3 1	賛否両論の社会問題を読んで聞いて、論理的思考力とスピーチング力を養う。	gap-year (日本でも普及するか?) writing big government (大きな政府か、小さな政府か?) debate homelessness (ホームレスは自己責任か?)	3 1 3 1 3	
	11(8)	UNIT 12 performance test UNIT 13 performance test	3 1 3 1	①Warm-up questions & Case ②Read on ③Listen to Model opinions & ④Discussion ④Performance Test	discussion punishment (少年を大人と同じように罰するべきか) presentation immigrants (移民を積極的に受け入れるべきか?) writing	1 3 1 3 1	
後 期	12(6)	UNIT 14 performance test 後期中間検査(1)	3 1 1			3 1 1	
	1(1)	UNIT 15 performance test	3 1			3 1	
	2						
	3						

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
外国語	英語会話	2	3年次		スザンヌ・ガリアーノ 坂下 美奈子								
使用教科書	Sailing English Conversation			使用副教材									
科目の目標					道徳教育のねらい								
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う。										異なる文化を理解し尊重する態度を育てる。			
学習活動内容			市函D.P. (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
			1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理 解・自己 管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力	
1 Vocabulary Link		○											
2 Listening				○	○								
3 Pronunciation					○				○				
4 Speaking			○		○		○		◎		◎		
5 グループワーク			○	○	○	○	○	◎	○	○	○		
6 課題提出			○	◎		○		○	○	◎	○		
7 考査		○	○					○	○	○			
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力			言語や文化についての 知識・理解					
	意欲的に授業に臨み、積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとしているか。	関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりできるか。また、海外での生活に必要な基本的な表現を使って会話することができるか。			相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答できるか。			聞いたり読んだりしたことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝えることができるか。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。												
	授業での取組	課題への取組	その他の資料										
	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	○	◎										
	外国語表現の能力	◎		○									
	外国語理解の能力	○		◎									
	言語や文化についての 知識・理解	○	○										

英語会話 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4(5)	オリエンテーション(1) UNIT 1 English Around the World(2) People Around Us(2)	教室会話や会話の決まり文句を習得する。 英語で自己紹介、他己紹介ができるようになる。	今後の授業に必要な教室英語を学ぶ。 ねらいを達成するために①表現を学び②覚え③活用し④実際の場面で使えるようにする。④についてはインダビューテスト、スキットコンテスト、プレゼンテーション、スピーチなどでパフォーマンス評価を行う。		
	5(8)	UNIT 2 L1 What Day Is Convenient for You?(5)	英語でスケジュール調整ができるようになる。			
	6(8)	L2 How Was Last Sunday?(5) L3 Could I Have an Extra Blanket?(5)	英語で過去の出来事について説明出来るようになる。 英語を使って機内の様々な状況に対応出来るようになる。			
	7(4)	L4 Who's Calling, Please?(5)	英語で電話をかけられる、受けられるようになる。			
	8(4)	L5 How Can I Get There?(5) Show & Tell(5)	英語の道案内を理解し、自分でも理解できるようになる。 英語で自分の思い出についてスピーチ出来るようになる。			
	9(8)	L6 May I Help You?(5)	英語で買い物出来るようになる。			
	10(8)	L7 You Look Nice in That Dress!(5)	英語で相手を褒めることが出来るようになる。			
	11(8)	L8 I'm Not Feeling Well(5) L9 I Want to Be a Diplomat(5)	英語で自分の体調について伝えられるようになる。 英語で自分の進路について伝えられるようになる。			
	12(6)	L10 Do You Share the House work?(5) UNIT 3 Our School Life(2) Studying Abroad(2) Case Studies(2)	英語で調査結果をもとに自分の考えを伝えられるようになる。			
	1(1)					
後期	2					
	3					

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
英語	英語研究B	2	3年次	菊谷 研司							
使用教科書	Future Times		使用副教材								
科 目 の 目 標			道徳教育のねらい								
文法・構文についての知識を整理発展させ表現力を育て、時事問題、社会や文化、科学や医療など、様々な分野の英文に触れることにより読解力を中心とした総合的な英語力を養うとともに、幅広い分野への知的関心を高める。			英語を通じて、人間の関わりを築き、互いの立場や考え方を尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。								
市函DP（本校で身に付けさせたい資質・能力）											
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解- 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール	10 実践力
1リーディング		◎		○							
2リスニング		◎		○	◎						◎
3ライティング		◎		○							
4スピーキング		◎							◎		
5ディベート・ディスカッション			◎	○	◎	◎	◎	◎	◎		◎
6 考査		○	○					○			
評価の観点	関心・意欲・態度	英語表現の能力			英語理解の能力			言語や文化についての知識・理解			
	意欲的に授業に臨み、積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。	各レッスンで扱う構文を理解し、それを用いて自分の考えや意見を表現できるか。			英文を聞いたり読んだりすることで、主題や要点を把握したり、他人の考えや意見を英語で理解することができるか。			文法や語彙、発音等に関する知識や文化的な背景的な知識を身につけ理解できるか。			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。										
	関心・意欲・態度	授業での取組	パフォーマンステスト	定期考査							
	英語表現の能力	◎	◎	○							
	英語理解の能力	◎	○	○							
	言語や文化についての知識・理解	○	○	◎							

英語研究B 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4 (8)	News1 News2	4 書かれた架空のニュース記事を読み、未来の日本で起きる可能性を考え、自分の考えを述べることができるようになる。	Cash loses out to electronic money Japanese overtakes Disneyland as world's most popular theme park. Japan's unemployment hits 30% as AI advances Burger McMoss sells its last hamburger made of real beef Shinkansen takes its last passenger English removed from the Center Test		
	5 (8)	News3 News4	4 4 4 4			
	6 (8)	News5 News6	4 3			
	前期中間考査(1)					
	7,8 (8)	News7 News8	4 4 check/Comprehension/Grammar check/Interview in future Japanese/Writing composition/Performance Test	NEWS/Analysis/Vocabulary Passports no longer required for international travel Eleven Mart reintroduces human staff		
	9 (8)	News9 News10	4 3	Japanese are first humans to set foot Japan joins NPTO (North Pacific Trade Organization)		
	前期期末考査(1)					
	10 (8)	News11 News12	4 書かれた架空のニュース記事を読み、未来の日本で起きる可能性を考え、自分の考えを述べることができるようになる。	Japan's population no longer declining Japan's two biggest brewers merge		
	11 (8)	News13 News14	4 4 4 4	Government introduces radical new university curriculum Two die in first flying car accident		
	12 (4)	後期中間考査(1) News15		First snowless year on Mt. Fuji		
後 期	1 (1)	News15	1 NEWS/Analysis/Vocabulary check/Comprehension/Grammar check/Interview in future Japanese/Writing composition/Performance Test	First snowless year on Mt. Fuji		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
外国語	中国語	2	3年次		東出 隆司 藤田 尚樹								
使用教科書	標準 高校中国語 [第3版] (白帝社)			使用副教材									
科 目 の 目 標								道徳教育のねらい					
中国語を理解し、中国語で表現する基礎的な能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を高め、国際理解の基礎を培う。								感情的な偏見を持つことなく、お互いの文化を尊重し、互いに理解しようとする気持ちを育む。					
学習活動内容			市函DP (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
			1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理 解・自己 管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力	
1 授業 (文字と四声の習得)	○		○										
2 授業 (復唱・発音練習)	○		○										
3 授業 (ペアワーク・グループワーク)					○		○		○	○	○		
4 中国文化の理解					○		○						
5 定期考查	○	○						○					
6 小テスト	○							○					
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力			言語や文化についての 知識・理解					
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	聞いたり読んだりした内容を的確に理解している。			身近な内容について話したり書いたりして、情報や考え方を適切に伝えることができる。			中国語の学習を通して、文字や音、または語彙について知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって多面的・総合的に評価する。												
		授業での取組	提出物	定期考查	単元テスト	その他の資料							
	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	◎	◎										
	外国語表現の能力	○							○				
	外国語理解の能力	◎		○	○				◎				
	言語や文化についての 知識・理解	◎	○	◎	◎								

中国語 授業計画

学習指導計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元実施	実施反省
前 期	4月 (5)	中国語の発音と書き方(4)	中国語の基本的な発音と書き方を覚える。	中国語概論 (3) 発音とピンイン (2)		
	5月 (8)	基本的中国語の文法の整理と確認 第1課 你好! 第2課 谢謝! 第3課 你叫什么名字? 第4課 我是日本人。 第5課 你是高中生? 第6課 这是什么? 第7課 这是我的词典。 第8課 你喝茶吗? 第9課 这个很好。 第10課 你有零钱吗? 第11課 介绍一下。 第12課 你家有几口人? 第13課 你们班有多少学生? 第14課 现在几点了? 第15課 今天几月几号? 第16課 你几点开始学习? 第17課 你每天学习几个小时? 第18課 王强来了吗?	中国語の基本的な文法を学び、語彙を増やす。 基本的文構造を理解する。	人称、挨拶、名前 (1) 感謝、お詫び、別れの表現 (1) 名前の聞き方、答え方 (1) 名詞述語文 (2) 反復疑問文 (2) 指示代詞(単数) (1) 指示代詞(複数) (1) 動詞述語文 (2) 形容詞述語文 (1) 数・疑問数詞 (2) 場所を表す代詞 (1) 助数詞 (1) 動詞の重ね型 (1) 時間の表し方 (1) 月日・曜日の表し方 (2) 時を表す文 (2) 「…が好きである。」(1) 「どうして、なぜ」(1)		前 期
	6月 (8)	前期期末考查(1)		前期期末考查(1)		
	7月 (4)	第19課 听说这部电影很有意思。 第20課 这儿可以坐吗? 第21課 你会滑雪吗?		連動文・過去の経験を表す。(3) 「～できる」「～したい」(2) 助動詞“会”、“能”(2)		
	8月 (4)					
	9月 (8)					
後 期	10月 (8)	第22課 明天我跟同学一起打网球。 第23課 桌子上放着什么? 第24課 你弟弟在干什么呢? 第25課 我身体不舒服。 第26課 离这儿远吗? 第27課 你说汉语说得很好。 第28課 什么时候到北京的?	基礎的な文法事項の定着を図り、自分や身の周りのことについて表現する。	助動詞“要”、前置詞“跟”、“在”(2) 「～している、～してある」(2) 進行を表す“在”「～している」(2) 主述述語文、「～してはいけない」(2) 副詞“就”「すぐに…する」(2) 選択疑問文を作る“还是”(3) 2つの目的語をとる動詞(3)		
	11月 (8)	後期中間考查(1)		後期中間考查(1)		後 期
	12月 (6)	第29課 小的比大的好。 第30課 准备好了吗? 第31課 快要下雨了。 第32課 祝你成功!	身近な話題を通して文化的共通点・相違点を知る。	文法事項を理解し、語彙力を高めるとともに、復唱を通して基本構文の定着を図る。		
	1月 (1)	1年間のまとめ		色々な形容詞 (2) 結果補語 (1) 自然現象の表し方 (1) “打算”「～するつもりだ」(1)	1年間のまとめ (1)	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任													
外国語	ロシア語	2	3年次	イリイナ・ソフィア 工藤 慶文													
使用教科書	会話で学ぶロシア語 初級				使用副教材												
科 目 の 目 標										道徳教育のねらい							
ロシア語を理解し、ロシア語で表現する基礎的な能力を養い、ロシア語で積極的にコミュニケーションを図るうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を高め、国際理解の基礎を培う。										ロシア語の学習を通じて、多言語や異文化に対する理解を深め、広い視野を育成する。							
学習活動内容			市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)														
			1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力					
1 授業(文字と発音)	○		○							○							
2 授業(各種表現)	○	○	○							○							
3 授業(ペアワーク・グループワーク)	○						○			○							
4 文化理解	○	○		○		○											
5 定期考查	○	○			○			○									
6 小テスト	○	○			○			○									
評価の観点	关心・意欲・態度		思考・判断			技能・表現			知識・理解								
	ロシア語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、会話・発音練習や文法演習に意欲的に取り組もうとする態度が身についている。		基礎・基本を身につけ、さらに高度な表現へと応用・発展させる力が身についている。			語彙力を高めるとともに、動詞の活用変化、名詞・形容詞の格変化を理解し、適切な表現ができる。			相手が伝えようとする情報や考えなどを理解する知識・技術を身につけ、的確に表現して実践的活用ができる。								
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。																
	授業での取組		課題への取組		定期考查		単元テスト		課題確認テスト		その他の資料						
	○	○			○		○		○								
	○	○			○		○		○		○						
	○	○			○		○		○		○						

ロシア語 授業計画

学習指導計画

実施状況

月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 (5) はじめに 文字と発音	アルファベットを覚える。 基本的な疑問表現を覚える。 肯定文・否定表現を覚える。 知っていること・知らないことの内容を表す。	アルファベットと発音記号(1) 疑問詞・名詞の性・人称代名詞(1) 職業名・肯定文と否定文(2) 所有代名詞・第一変化動詞(1) 複文(1) 第二変化動詞(1) 話法(3) 「運動」の動詞を覚える。		
	5月 (8) 第1課 第2課	動詞の変化を覚える。 「運動」の動詞を覚える。	「運動」の動詞(1) 原因・理由の従属文(1) 原因・理由の従属文(1)		前
	6月 (7) (前期中間考查) 第3課 第4課	基本的な疑問表現を覚える。 「所有」の動詞を覚える。 過去の表現を覚える。	開始・終了の動詞(1) К о г д а ?型の疑問文(1) 「所有」の動詞(1) К о г д а の従属文(2) 動詞の過去形(1) 対格(1)		
	7月 (4) 第5課	期間の表現を覚える。	「期間」の疑問文(2) 完了体(2)		期
	8月 (3) 第6課	未来の表現を覚える。	完了体動詞の未来形(3)		
	9月 (6) (前期末考查) 第7課 第8課	否定の表現を覚える。 未来の表現を覚える。	「～しなければならない」・否定代名詞(2) 不完了体動詞の未来形(2) 「希望」の動詞(2)		
	10月 (8) 第9課 第10課	暑い・寒いなど状況の表現を覚える。 「～について」の表現 前置格の語尾変化を覚える。	無人称述語・関係代名詞の対格(2) O + 前置格・所有代名詞の前置格(2) 前置詞の語尾変化(2) 動詞の後ろに来る名詞／代名詞の対格と与格(2)		
	11月 (7) 第11課 第12課 第13課	好みの表現を覚える。 所有・存在の否定表現を覚える。 過去・未来の否定表現を覚える。	「好み」の動詞の完了体・不完了体(2) 所有代名詞・形容詞の与格(2) 否定生格・名詞の生格(1) 「数・量」の表現(2) 動詞の過去形・未来形(2)		後
	12月 (6) (後期中間考查) 第14課 第15課	「どこから～」の表現を覚える。 「～してもよい」の表現を覚える。 国名を覚える。	出発点・出身の表現(2) 許可・禁止の表現(2) 民族性(1) 所有代名詞の生格(1)		
期	1月 (6) まとめ	1年間の学習の総まとめをする。	演習プリントを用いた復習(6)		期

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任							
外国語	ハングル	2	3年次		全 淑子 坂下 美奈子							
使用教科書				使用副教材								
科 目 の 目 標					道徳教育のねらい							
ハングルを理解し、ハングルで表現する基礎的な能力を養い、ハングルで積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を高め、国際理解の基礎を培う。					韓国語の学習を通じて、多言語や異文化に対する理解を深め、広い視野を育成する。							
学習活動内容			市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
1 授業(文字と四声の習得)	○		○									
2 授業(復唱・発音練習)	○		○									
3 授業(ペアワーク・グループワーク)				○		○		○	○			
4 韓国文化の理解				○		○						
5 定期考査	○	○					○					
6 小テスト	○						○					
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		外国語表現の能力			外国語理解の能力		言語や文化についての 知識・理解				
	<ul style="list-style-type: none"> 「読む」「聞く」「話す」「書く」活動に積極的に取り組んでいるか。 自主的・主体的に授業に取り組んでいるか。 		<ul style="list-style-type: none"> 言語表現を使用して、自分の生活に関することがらや意見・考えを正しく伝えることができるか。 			<ul style="list-style-type: none"> 扱われている言語材料や文法事項を、場面や目的、状況に応じて適切に活用できているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 韓国語の学習を通して、言語やその使い方についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解しようとしているか。 				
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。											
		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料					
	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	◎	◎									
	外国語表現の能力	◎		○	◎		○					
	外国語理解の能力	○		○	○				◎			
	言語や文化についての 知識・理解	○	○	◎	◎							

ハングル 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 (4) 韓国語の発音とハングルの書き方(21)	韓国語の基本的な発音とハングルの書き方を覚える。	基本母音を覚える(2) 基本子音を覚える(3)		
	5月 (8)		激音を覚える(3) 濃音を覚える(3) 激音・濃音を用いた単語を覚える(2)		前
	6月 (8) ↓ 前期中間考査	韓国語の基本的な発音を覚え、語彙力を高める。	(1) バッヂムを覚える(2) 複合母音を覚える(2) 連音を覚える(2) 基本単語のまとめ(1)		前
	7月 (3) 第一課 「私は…です」 第二課 「私は…ではありません」	基本的文構造を理解する	助詞の使い方を覚える(1) 助詞の確認、否定語の使い方を覚える(2)		期
後 期	8月 (3) ↓ 第三課 「これは何ですか」		指示語、疑問詞を覚える(2)		
	9月 (7) 前期末考査 基本的韓国語文法の整理と確認(22) 第四課 「これはいくらですか」		(1) 指示語、疑問詞、数字を覚える(5)		
	10月 (8) 第五課 「毎日会社に行きます」 第六課 「日曜日に映画を見ます」 第七課 「週末に時間はありますか」	基礎的な文法事項の定着を図り、自分や身の周りのことについて表現する。	用言+です、ますの表現を覚える(3) 基本動詞、形容詞を覚える(2) 母音語幹の用言とバッヂムのある用言を覚える(2) 有無の表現、尊敬の表現を覚える(2)		後
	11月 (7) 第八課 「お時間よろしいですか」 第九課 「そこには行きません」 第十課 「そのドラマを見ました」 第十一課 「韓国語が好きで勉強します」 後期中間考査	身近な話題を通して文化的共通点・相連点を知る。	否定の表現を覚える(2) 過去の表現を覚える(3) 原因・理由の表現を覚える(2) (1)		期
期	12月 (5) 文法の復習と基本フレーズの練習(10) ・「もしもし」・「今日は何曜日ですか」 ・「趣味は何ですか」 ・「今、何時ですか」	文法事項を理解し、語彙力を高めるとともに、復唱を通して基本構文の定着を図る。	電話での表現を覚える(2) 月日、曜日の表現を覚える(2) 好き、嫌いの表現、娯楽・スポーツの単語を覚える(4) 漢数詞と個数名詞を覚える(2)		
	1月 (1) 学習のまとめ(2)	韓国語による相互コミュニケーションを通し、互いを理解する。	既習の文法事項や表現を使って自分のことについて話したり、相手に質問したりする。(2)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任											
家庭	子どもの発達と保育	2	3年次選択	橋本 聰子											
使用教科書	実教出版 子どもの発達と保育（新訂版）				使用副教材	子どもの発達と保育 学習ノート									
科目の目標										道徳教育のねらい					
乳幼児の発達の特徴・生活と保育に関する基礎的・基本的な知識を修得させ、生徒の子どもへの理解を深める。また、子どもの健全な成長のために果たすべき社会の役割や、社会の一員としてより良い生活環境のあり方を考える力を育む。										社会変化の現実と向き合いながら、人間が生まれてくることの意味や成長の中で乗り越えるべき課題について考える。また、いのちを産み育てる責任と人権を尊重することの大切さを学ぶ。					
市函DTP（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）															
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力				
1 発達と乳幼児期の意義		○													
2 発達と保育環境		○													
3 子どもの発育		○													
4 子どもの精神発達		○													
5 人間関係の発達		○													
6 生活と養護		○	○												
7 子どもの遊び（製作を含む）		○	○	○				○							
8 生活習慣の形成		○	○												
9 健康管理と事故予防		○													
10 子どもの食生活（実習含む）		○	○	○					○						
11 保育の意義と重要性		○													
12 家庭保育と集団保育		○													
13 子どもの福祉と子育て支援		○													
14 グループワーク			○		○	○	○		○						
15 チェックテスト		○	○					○	○						
16															
17															
18															
19															
20															
評価の観点		関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技能		知識・理解							
		<ul style="list-style-type: none"> 授業活動において積極的姿勢で参加・活動しているか。 授業の準備や課題提出が十分か。 		<ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだ知識をもとに、保育に関する諸問題や課題を見つけ、論理的に考え選択し、それを表現することができるか。 		<ul style="list-style-type: none"> 実習や作製を通して、その技術を習得しているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの保育に関わる基礎的・基本的な知識を理解しているか。 							
評価の方法		次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。													
		授業での取組	課題への取組	課題の完成度	実習	チェックテスト									
		○	○	○	○	○									
		○	○	○	○	○									
		○	○	○	○	○									
		○	○	○	○	○									

子どもの発達と保育 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	1章 子どもの発達の特性 (3時間)	・人間の発達に关心を持ち、乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解する。	・発達と乳幼児期の意義（1） ・発達と保育環境（2）		
	4月 5月 6月	2章 子どもの発達の過程 (17時間)	・生命誕生に関わる母体環境の重要性を知る。 ・新生児の身体的特徴を知り、特に養護に配慮しなくてはならないことを理解する。 ・乳幼児の生理的特徴、精神発達の特徴を学び、重要な時期であることを理解するとともに、その養護の重要性を理解する。	・子どもの発育（6） ・子どもの精神発達（6） ・人間関係の発達（4） ・チェックテスト（1）		
	7月 8月 9月	3章 子どもの生活 (14時間)	・乳幼児の生活の特徴を学び、発育発達に応じた養護の必要性を知る。 ・生活習慣形成の意義と重要性を理解する。	・生活と養護（4） ・子どもの遊び（製作含む）（10）		
後期	10月 11月	3章 子どもの生活 (18時間)	・日常の健康状態の観察など、乳幼児の健康を守るために保護者の役割を理解する。 ・乳幼児の成長段階における事故の実態と原因などを学習し、安全教育のために保育者がつとめなければならないことを理解する。	・生活習慣の形成（5） ・健康管理と事故予防（2） ・子どもの食生活（実習含む）（10） ・チェックテスト（1）		
	12月 1月	4章 子どもの保育 5章 子どもの福祉 (8時間)	・現在の保育をめぐる問題を取り上げ、高校生として保育を学ぶ意義を理解する。 ・乳幼児は遊びを通して発育発達することを理解し、保育者が発達に合わせて遊びを働きかけることを学ぶ。 ・保育の場としての家庭保育と集団保育があることを知り、それぞれの特徴や役割があることを学ぶ。子どもの成長発達に両方が必要であることを理解する。	・保育の意義と重要性（2） ・家庭保育と集団保育（2） ・保育の方法（2） ・子どもの福祉と子育て支援（2）		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス (函館学)

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任					
総合	函館学	0~2	全年次・選択	探究部担当教員・外部講師					
使用教科書			使用副教材						
科目の目標				道徳教育のねらい					
国際性と進取の精神を持つ郷土函館・道南圏の歴史・文化・産業・自然・人物・地域課題等について学ぶことで、豊かな教養を身に付けるとともに、社会における自己の役割を再認識し、地域の振興に向けて、自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や態度を育てる。				国際性と進取の精神を持つ郷土函館・道南圏の歴史・文化・産業・自然・人物・地域課題等について学ぶことで、郷土を愛し、郷土の振興のために尽力する態度を養う。					
学習活動内容		市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)							
		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力
1 外部公開講座受講	◎	◎	◎	◎				○	◎
2 はこだて検定	◎	◎	◎				○		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断		技能・表現		知識・理解			
	郷土・函館・道南圏の歴史・文化・産業・自然・人物・地域課題等について主体的に学んでいる。	地域課題に係わる活動に関心を持ち、公開講座やボランティア活動などへの参加を通じて、よりよく解決する資質を身につけていく。	地域課題の解決に向けた活動などにより、自分の学びを他者にわかりやすく伝えることができる。	地域と自分との関わりの中、課題解決に向けた活動などにより、自己の在り方生き方を考えることができる。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。								
	講座や活動への取り組み	地域課題への取り組み	報告レポート						
	関心・意欲・態度	◎	◎	◎					
	思考・判断	◎		◎					
	技能・表現			◎					
知識・理解		◎	◎						

函館学（選択） 2019年度 開講講座等実績（2020年度は「はこだて検定」のみ）

授業計画				実施状況	
月 (時数)	開講講座	学習のねらい	学習内容	単元 実施 時数	実施反省
前	4 第1回函館てらこや 函館野外劇（リハーサル）	郷土函館・道南圏の「歴史」、「文化」、「産業」、「自然」、「人物」、「地域課題」等について総合的に学ぶ。	てらこや 地域の子ども達に学び・遊びの場を提供し、保護者・大人のボランティア・学生ボランティアが交流し地域を盛り上げていこうという活動を通じて、コミュニティのあり方や地域全体で行う子育て・教育のあり方について考える。		
	5 第2回函館てらこや 「はこだて海の教室～ロゴ制作講座」 函館野外劇（リハーサル）				
	6 第3回函館てらこや 第1回 CCH合同公開講座 『函館学2019』 函館野外劇（リハーサル） 函館書藝社展全員展 北海道書道展函館展		第1回 CCH合同公開講座 「ロシアにおける外国语教育の歴史と現在」		
	7 第4回函館てらこや 第2回 CCH合同公開講座 『函館学2019』 函館野外劇		第2回 CCH合同公開講座 「高付加価値新素材に生まれ変わるイカ墨」		
	8 CCH加盟校主催『函館学』講座 第5回函館てらこや 函館野外劇 函玄社書道展		CCH加盟校主催『函館学』講座 「水中カメラを使った魚の観察」 「モジュールな生き物、海藻の世界を探検する」		
	9 CCH加盟校主催『函館学』講座 第6回函館てらこや		CCH加盟校主催『函館学』講座 「ウニは時々悪いことをするけど、基本的にはいい奴」		
	10 第7回函館てらこや 第3回 CCH合同公開講座 『函館学2019』 函館書藝社展会友・公募展		第3回 CCH合同公開講座 「化石から探る道南の森林の歴史」		
	11 アカデミックリンク2019 CCH合同研究発表会 はこだて検定 第8回函館てらこや 金子鷗亭 川端文学燐文集展				
	12 地域創生政策アイデアコンテスト 第9回函館てらこや				
1	第10回函館てらこや				
2	第11回函館てらこや 高文連高校生の書展 アカデミックリンク2019 CCH合同研究発表会 ハコダテ シェスタ編				
3	第12回函館てらこや				

函館学(選択)は『函館学ニュース』で随時案内するため、年度により開講講座が異なることから、前年度の実施実績とする。

2021年度 市立函館高等学校 シラバス (総合的な探究の時間)

教科	科目、	単位数	年次・コース	教科担任					
総合	総合的な探究の時間	1	3年次	3年次教員					
使用教科書			使用副教材						
科目の目標				道徳教育のねらい					
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようになります。				自ら課題を見付け、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方や考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を身に付けることで、よりよい道徳的な判断力を養う。					
学習活動内容		市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)							
		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力
1 課題研究	◎	◎	◎	○		○	○	◎	
2 志望理由書執筆	◎	○	○		◎		○	◎	
3 講演会	○	◎	○	◎					
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断			技能・表現	知識・理解			
	現代社会の課題を多面的に学び、自ら課題を発見し、課題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組むことができる。	自ら見付けた課題について、調査研究し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けている。			課題解決に向けて、情報を調べ活用する能力や他者にわかりやすく伝える能力を身に付けている。	社会と自分との関わりの中、課題解決や探究活動により、自己の在り方生き方を考えることができます。			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。								
		授業への取り組み	課題への取り組み	グループワーク	自己評価・相互評価	発表内容	作品(レポート等)		
	関心・意欲・態度	◎	◎	○	○				
	思考・判断			○		◎	◎		
	技能・表現					◎	◎		
知識・理解		○			◎	◎			

総合的な探究の時間 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
期	4	志望理由書（3）	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由書を書くことにより、自分の進路目標を明確にし、自己の在り方や生き方について探求する。また、作成の過程での情報処理能力、自己表現能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由書ワークシート作成（3） 		
	5	志望理由書（2） 課題研究（2）	<ul style="list-style-type: none"> 3つの大きな柱「自己を知る」、「社会・学問を知る」、「表現力を磨く」を立てて取り組んできた総合学習の集大成として課題研究に取り組む。 自分が学びたいと考える学問や社会において探求したいと考える事柄、就きたい職業の仕事の内容などをより具体的に調べ考察し、論文に仕上げ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由書下書き執筆（2） 課題研究オリエンテーション（1） 課題研究下書き執筆（1） 		
	6	志望理由書（1） 課題研究（1） 講演会（3）	<ul style="list-style-type: none"> この活動を通じて、自分の探求していく夢を持ち、進みたい大学・学部や職業をより確信を持って目指す契機とする。 社会の第一線で活躍する方の講演を聞くことで、生徒の視野を広げ、多様な生き方を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由書清書提出（1） 課題研究下書き執筆（1） 講演会（3） 		
	7	課題研究（3）		<ul style="list-style-type: none"> 課題研究下書き執筆（2） 		
	8	課題研究（1）		<ul style="list-style-type: none"> 課題研究下書き執筆（3） 		
	9	課題研究クラス発表会（6） 課題研究全体発表会（3） 評価・反省（1）		<ul style="list-style-type: none"> 課題研究清書提出、クラス発表会説明（1） 課題研究クラス発表会（6） 課題研究全体発表会（3） 評価・反省（1） 		
	10					
	11					
	12					
後期	1					
	2					
	3					